JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	製品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省　製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式） （都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 406	2011/12/07	2013/03/21	ガスふろがま（都市ガス用，半密閉式（FE式））	（火災）建物を全焼する火災が発生し，現場に当該製品があった。			山形県	○当該製品の本体は焼損が著しいが，発火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードの差込プラグの刃が焼失していた。 ○当該製品の設置場所が，壁コンセントから距離があったため，延長コードが使用されており，その接続部は土間に置かれ，周辺には新聞等の可燃物が置かれていた。 ●当該製品の電源コードのプラグと延長コードとの接続部で生じたトラッキング現象により，周囲の可燃物に着火し火災に至ったものと推定される。なお，設置事業者については特定できなかった。	
B1G11- 405	2011/12/30	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）当該製品を使用中、その場を離れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。			滋賀県	○当該製品の点火つまみは全開の位置にあった。 ○当該製品の周囲にはペットボトルが置かれ、直上壁面にはおたまをはじめとする、樹脂製台所用品が掛けられていた。 ○使用者は当該製品を消火せずに、その場を離れていた。 ○事故品にガス漏れの痕跡などの異常は認められなかった。 ●当該製品には、異常が認められないことから、使用者がやかんで湯沸かし中にその場を離れたため、周囲の可燃物に火が着いて火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出しない」及び「機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない」旨、記載されている。	
B1G11- 404	2011/12/27	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、軽傷2名）当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷した。			鳥取県	○当該製品は、右こんろ側（強火力バーナー）の焼損が著しく、こんろの右側板に外側からの強い熱影響を受けた形跡が認められ、トッププレート裏側も右側には熱影響による著しい変色が認められた。 ○ガスホースのホースエンドは赤線まで充分差し込まれゴム管止で固定されており、焼損のない部分には、異常は認められなかった。 ○立ち消え安全装置及び調理油過熱防止装置には異常は認められなかった。 ○こんろ及びグリルの器具栓は、プッシュボタンや内部スイッチ等の樹脂部品が焼損・焼失しており、火災発生時の器具栓の開閉状況を確認することができなかった。 ●当該製品には異常は認められず、焼損状況から右外側から何らかの熱影響により焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 403	2011/12/27	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			神奈川県	○当該製品の調理油過熱防止装置付バーナーで、油が入った鍋を加熱したまま放置していたところ、鍋内から出火した。 ○調理油過熱防止装置の温度センサー部には、汚れの付着が認められたが、他に異常は認められなかった。 ○使用していた鍋の底部には、凹凸があり、汚れの付着が認められた。 ●当該製品に異常が認められないことから、使用者が鍋の底部と当該製品の調理油過熱防止装置の温度センサー部が密着していない状態で加熱したまま放置していたために、鍋内の油が過熱されて発火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対に離れない、温度センサーの上面と鍋底が密着していないときは使用しない、なべ底についた汚れは取り除く」旨、記載されている。	
B1G11- 402	2011/12/23	2013/03/18	ガスこんろ(都市ガス用)	（火災）店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			東京都	○店舗厨房で多量の天ぷら油が入った鍋に凝固剤を投入し、当該製品を点火したまま外出中、しばらくして無人の厨房内で火災が発生していた。 ○当該製品に発火痕跡が無く、調理油過熱防止装置に異常は認められなかった。 ○使用していた鍋は、煮こぼれや油汚れがひどい状態であった。 ●使用していた鍋は煮こぼれや油汚れがひどく、当該製品の調理油過熱防止装置の温度センサーが検知できない状態であったことから、鍋の油が加熱されたまま放置されていたため、油が過熱して発火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま離れたり外出しないことや温度センサーと鍋が密着していない時は使用しな	
B1G11- 401	2011/12/23	2013/03/18	カセットこんろ	（火災、軽傷1名）カセットボンベを装着した当該製品を点火したところ、当該製品から出火しカセットボンベが破裂する火災が発生、当該製品及び周辺を焼損、1名が負傷した。			東京都	○当該製品にカセットボンベを接続し、鍋を載せずに点火動作を行っていたところ、当該製品の接続部から炎があがった後、当該製品が爆発した。 ○カセットボンベは当該製品に適切に装着されていなかった。 ○カセットボンベは、缶体部が破裂していた。 ●当該製品にカセットボンベを正しく装着しなかったため、接続部に隙間が生じてガスが漏れ、点火操作時の火花などが漏れたガスに着火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「カセットボンベのフランジ切り欠きを容器受けガイドに合わせ、確認のうえセットする」旨、	・A201100860(カセットボンベ）と同一事故

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 400	2011/12/23	2013/03/18	カセットボンベ	（火災、軽傷1名）当該製品を装着したカセットこんろを点火したところ、カセットこんろから出火し当該製品が破裂する火災が発生、周辺を焼損、1名が負傷した。			東京都	○当該製品にカセットこんろを接続し、鍋を載せずに点火動作を行っていたところ、当該製品の接続部から炎が上った後、当該製品が爆発した。 ○当該製品はカセットこんろに適切に装着されていなかった。 ○当該製品は、缶体部が破裂していた。 ●当該製品をカセットこんろに正しく装着しなかったため、接続部に隙間が生じてガスが漏れ、点火操作時の火花などが漏れたガスに着火し、火災に至ったものと推定される。なお、本体表示には、「当該製品のフランジ切り欠きとカセットこんろの容器受けガイドを合わせてセットする」旨、表記されている。	・A201100861(カセットこんろ）と同一事故
B1G11- 399	2011/12/16	2013/03/18	カセットボンベ	（火災）店舗でカセットこんろに装着していた当該製品から漏洩したガスに引火する火災が発生し、周辺を焼損した。			東京都	○当該製品及び装着していたカセットこんろには、異常が認められなかった。 ○当該製品をカセットこんろへ適切に装着していなかった。 ●当該製品をカセットこんろへ適切に装着しなかったため、ガスが漏れて点火時の火花などが漏れたガスに引火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「当該製品をカセットこんろに装着する際、カセットこんろの容器受けガイド凸部と、当該製品の容器ガイド凹部を合わせてセットする」旨、記載されてい	・A201100883（カセットこんろ）と同一事故
B1G11- 398	2011/12/16	2013/03/18	カセットこんろ	（火災）店舗で当該製品に装着していたカセットボンベから漏洩したガスに引火する火災が発生し、当該製品を焼損した。			東京都	○当該製品及び装着されていたカセットボンベには異常は認められなかった。 ○当該製品にカセットボンベを適切に装着していなかった。 ●当該製品にカセットボンベを適切に装着しなかったため、ガスが漏れて点火時の火花などが漏れたガスに着火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「当該製品にカセットボンベを装着する際、当該製品の容器受けガイド凸部と、カセットボンベの容器ガイド凹部を合わせてセットする」旨、記載されている。	・A201100918（カセットボンベ）と同一事故
B1G11- 397	2011/12/07	2013/03/18	ガス栓(都市ガス用)	（火災）当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			東京都	○ガスこんろを使用中に異常を感じたので、2口ある当該製品を閉めようとしたところ、未接続側ガス栓を誤って開けてしまい、漏れたガスにこんろの火が着火して周辺を焼損した。 ○当該製品のヒューズ機構にシール材の一部が認められた。 ○シール材は、ガス栓修理時に使用されていた。 ●当該製品のガス栓内にシール材が認められたことから、未接続側ガス栓を開いた際に、シール材がヒューズに噛み込み、微量のガス漏れが生じて漏れたガスにガスこんろの炎が着火し、事故に至ったものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 396	2011/11/26	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼する火災が発生した。			東京都	○当該製品に接続されていたゴム管が、当該製品のグリル底部に接触した状態で通っており、焼損していた。 ○当該製品には、ガス漏れなどの異常は認められなかった。 ○当該製品のグリルが、空焚き状態になっていた。 ○こんろ使用後に、こんろを消火しようとして誤ってグリルを点火していた。 ●当該製品に接続されていたゴム管が、グリル底部に接触した状態になっていたために、グリル部からの熱によって損傷し、損傷部から漏れた未燃ガスにグリルの燃焼炎が着火して火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「ゴム管を機器の上や下を通さない、機器に触れないように適切な長さに切って使用する」旨、記載されている。	
B1G11- 395	2011/09/26	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災、重傷1名）当該製品で調理中、衣類（ブラウス）に引火し、火傷を負った。			東京都	○当該製品の強火力バーナーにやかんを載せて、やかん底の周囲から火がはみ出すくらい強い火力でお湯を沸かしていた。 ○湯沸かし中に、こんろ奥の出窓に置いていた物を取ろうとしていたところ、衣類の脇腹辺りにこんろの火が着火した。 ○当該製品は、点火及び燃焼に異常はなく、正常に使用可能であった。 ●当該製品に異常が認められないことから、当該製品を炎が溢れるぐらいに使用中に、こんろ奥へ手を伸ばした際に、こんろの火が衣類に着火して事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「こんろ・グリル使用中は身体の一部や衣類をバーナー付近や排気口に近づけない。衣服に炎が移ったり、排気熱によりやけどをするおそれがある。」旨、記載されている。	
B1G11- 394	2011/09/15	2013/03/18	迅速継ぎ手（都市ガス用）	（火災）当該製品をガス炊飯器に接続して使用中、ガス炊飯器側接続部から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。			神奈川県	○当該製品のスライドバルブ端部のパッキンが無くなっていた。 ○スライドバルブ端部の表面には、パッキンを円周上に削り取ったような破面が認められたが、焼損の痕跡はなかった。 ●当該製品のスライドバルブ端部のパッキンが削り取られていたため、ガス炊飯器との接続部からガスが漏えいし、ガス炊飯器の炎が着火して事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、スライドバルブ端部のパッキンが無くなった経緯が不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 393	2011/05/20	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（重傷1名）当該製品の右側こんろを点火操作の際、1名が火傷を負った。			神奈川県	○当該製品の本体内部や強火力バーナーには、吹きこぼれの痕跡が認められた。 ○強火力バーナーは、バーナーヘッドに異物が付着しており、正常に点火ができなかった。 ○強火力バーナーのバーナーヘッドの異物を除去したところ、火花が発生することが無く、正常に点火・燃焼した。 ○強火力バーナー燃焼時は、周辺で異常な温度上昇は認められなかった。 ●当該製品に異常が認められないことから、事故原因の特定に至らないものの、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 392	2011/04/14	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、軽傷1名）当該製品の調理油過熱防止装置のついていない側のこんろで天ぷらを調理中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。1名が火傷を負った。			静岡県	○使用者は、調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで揚げ物調理をしていた。 ○使用者は、点火後に火をつけたままその場を離れ、火をつけていることを忘れていた。 ●使用者が、当該製品の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで揚げ物調理を行い、火をつけたままその場を離れたため、油が過熱して発火に至った火災と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「揚げ物調理する場合は、必ず温度センサー付バーナーを使用する。」「火をつけたままの移動禁止。」旨、記載されている。	
B1G11- 391	2011/12/30	2013/03/18	ガス栓（LPガス用）	（火災）当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。			愛知県	○引っ越し時の開栓業者が、新品のガスこんろに付いていたホースエンド保護用樹脂製キャップを当該製品の未接続ガス口に被せていた。 ○使用者が当該製品のつまみを開き、ガスこんろに点火したところ、当該製品周辺から炎が上がっていた。 ○当該製品は、左右つまみが溶解し、開閉操作ができなかったが、通気を確認すると、右側が閉栓、未接続側の左側が開栓になっていた。 ○左側ホースエンドには、新品のガスこんろに付いていた樹脂製キャップが被され、キャップ端部は溶融していた。 ○左側ヒューズ機構は、正常に作動したが、ホースエンドにキャップを被せると、ヒューズ機構は作動せず、キャップの隙間からガス漏れが発生した。 ●当該製品の未接続側ホースエンド部に、当該製品のものではない樹脂製キャップを被せていたことから、使用者が誤開放した際に、ヒューズ機構が作動せずにガス漏れが生じ、ガスこんろ点火時の火花が着火し、火災に至ったものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 390	2011/12/17	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、その場を離れ戻ったところ、建物を全焼する火災が発生していた。			大阪府	○天ぷら調理中に火を消したつもりでその場を離れ、台所に戻ったところ、炎が上がっていた。 ○当該製品は、調理油過熱防止装置の無い製品であり、全体的に焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の点火操作部は、構造などに異常が認められなかった。 ●当該製品に出火に至る異常が認められないことから、当該製品で揚げ物を調理していたところ、消し忘れてその場を離れていたため、油が過熱して火災に至ったものと推定される。なお、本体表示には、「使用中にその場を離れる時は必ず消火する」旨、記載されている。	
B1G11- 389	2011/12/14	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、死亡2名）建物が全焼し、2名が死亡する火災が発生した。			滋賀県	○当該製品は、過熱防止装置や消し忘れタイマーの付いていない一口こんろであった。 ○当該製品は、点火機構部のつまみ軸から、器具栓が開いていることが確認できた。 ○五徳には、鍋と思われるアルミの溶融物が付着していた。 ●当該製品は、器具栓が開いており、五徳には鍋と思われるアルミが付着していることから、火をつけたまま放置していたことによる火災と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動、外出、就寝禁止」旨、記載されている。	
B1G11- 388	2011/12/08	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災、軽傷1名）当該製品の点火操作を繰り返したところ、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損、1名が火傷を負った。			北海道	○20年使用した当該製品が、なかなか点火しないのでバーナー部をワイヤーブラシで掃除して3回ほど点火操作したが、火花が飛んでも火が着かないため、再度点火操作したところ大きな炎が出た。 ○バーナー周辺は、煮こぼれが多く付着しており、本体内の点火プラグ用リード線の被覆が焼け落ちて本体にリークする状態であった。 ○立ち消え安全装置は、取付け板が変形しており、炎に届かない状態であった。 ●当該製品が着火不良となっていたため、繰り返し点火操作でガスが滞留し、再点火時の火花が漏れたガスに引火して火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「再点火する時は、周囲に生ガスが無くなるまでしばらく待つ」旨、記載されている。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 387	2011/12/05	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）異臭がしたため確認すると、当該製品のグリル部から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。			長崎県	○当該製品のグリルを使用して火を消してから約4時間後に当該製品から出火した。 ○当該製品は、全体が焼損しており、特に、ガス接続部のある左後方が、外部から炙られたような著しい焼損が認められた。 ○グリル庫内の底板は、著しい腐食による穴開きが認められた。また、グリル水入れ皿には、多量の固着した炭化物が認められた。 ○当該製品に繋がっていたゴム管は、ホースエンド付近のみで焼損が著しく、焼損部に穴開きが認められた。なお、他の箇所に、焼損や劣化などの異常は認められなかった。 ●当該製品に接続していたゴム管が、当該製品の下に入り込んだ状態で使用を続けていたため、腐食して穴の開いたグリル底部からの排気でゴム管が熱劣化して穴が開き、漏れたガスがグリル庫内で燃えていた油脂の火などで着火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「ガス用ゴム管は機器の下を通さないことやグリルの水入れ皿に油脂等が溜まると発火する場合があるので、その都度取り除く」旨、記載されている。	
B1G11- 386	2011/12/03	2013/03/18	迅速継ぎ手（都市ガス用）	（火災）当該製品をガス温風暖房機に接続して使用中、当該製品のガス温風暖房機側接続部から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。			東京都	○購入直後に使用したガスファンヒーターの接続口は、スリムプラグ型であった。 ○以前使用していたガスストーブの接続口はホースエンド型であったため、当該ガスストーブとホースエンドの間に、ゴム管差し込み式ガス機器用プラグを接続していた。 ○当該製品とガスファンヒーターの接続部には、スリムプラグ型に不要なゴム管差し込み式ガス機器用プラグが流用されていた。 ●当該製品とガスファンヒーターが誤接続の状態であったことから、接続箇所からガスが漏れて使用中のガスファンヒーターの燃焼炎に引火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 385	2011/12/03	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、死亡1名）建物が全焼し、1名が死亡する火災が発生した。			愛媛県	○当該製品は、内部より外部に著しい焼損が認められ、樹脂部品は焼失していた。 ○当該製品内部には、発火痕跡が認められなかった。 ○器具栓は、全て閉の位置であり、立ち消え安全装置も正常であった。 ●当該製品の焼損が著しく、事故原因の特定には至らないが、外部からの延焼によって焼損したものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災, 軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し, 1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は, 台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には, 近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを, 石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために, 漏れたガスに石油ストーブの火が引火し, 火災に至ったものと推定される。なお, ボンベにガスが残っている場合の処理について, 本体表示には, 「お湯を沸かすなどして使い切る。又は, 風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨, 記載されている。	
B1G11- 384	2011/11/22	2013/03/18	ガス栓(LPガス用)	(火災)当該製品を接続したガスこんろを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			福岡県	○使用者は、当該製品に接続されたガスこんろを使用中に当該製品の未接続のガス栓つまみを誤って半開状態とした。 ○未接続のガス栓つまみは、半開状態であった。 ○未接続ガス栓には、ガス栓キャップが被せられていなかった。 ○当該製品の気密性、流量及びヒューズ作動に異常は認められなかった。 ●当該製品に接続されたガスこんろを使用中に、使用者が未接続側のガス栓つまみを誤って半開状態にしたため、漏れ出したガスにガスこんろの火が引火したものと推定される。	
B1G11- 383	2011/11/19	2013/03/18	ガスこんろ(都市ガス用)	(火災、軽傷1名)当該製品のグリル部で調理後、その場を離れたところ、当該製品を焼損する火災が発生し、1名が負傷した。			北海道	○グリル使用後、火を消し忘れたままだった。 ○当該製品を購入してから4年経つが、グリルを掃除したことがなかった。 ○本体は、全体的に焼損が認められ、グリル扉のガラス窓と取っ手が焼失していた。 ○グリルは、庫内や水入れ皿に油脂の付着や焦げつきがあり、バーナーに腐食が認められた。 ●当該製品のグリルを消し忘れており、水入れ皿に油脂の付着が認められることから、グリル庫内が高温となり、水入れ皿に溜まっていた油脂が過熱されて発火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、火を付けたまま離れない、グリルを使用する毎に必ず掃除する	
B1G11- 382	2011/11/12	2013/03/18	カセットボンベ	(火災)当該製品が破裂し、当該製品を装着したカセットこんろを焼損する火災が発生した。			静岡県	○当該製品は、カセットこんろに装着された状態で、石油ストーブの天板上に置かれていた。 ○カセットこんろの脚は溶融し、石油ストーブの天板上に溶融した脚が付着していた。 ○当該製品は、内圧上昇により破裂し、ボトムが外れていた。 ○カセットこんろは、事故時に使用されていなかった。 ●当該製品を装着したカセットこんろを、石油ストーブの天板上に置いたまま、石油ストーブを点火したため、当該製品が過熱され、内圧上昇により破裂に至ったものと推定される。	A201100660(カセットこんろ)、A201100709(石油ストーブ(開放式))と同一事故

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2:「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災，軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 381	2011/11/12	2013/03/18	カセットこんろ	(火災)カセットボンベを装着した当該製品を焼損する火災が発生した。			静岡県	○当該製品は、事故時に使用されていなかった。 ○カセットボンベが装着された当該製品は、石油ストーブの天板上に置かれていた。 ○当該製品の脚は溶融し、石油ストーブの天板上に溶融した脚が付着していた。 ○カセットボンベは、内圧上昇により破裂していた。 ●カセットボンベを装着した当該製品を、石油ストーブの天板上に置いたまま、石油ストーブを点火したため、カセットボンベが過熱され、事故に至ったものと推定される。	A201100685(カセットボンベ)、A201100709(石油ストーブ(開放式))と同一事故
B1G11- 380	2011/11/11	2013/03/18	ガスこんろ(LPガス用)	(火災)当該製品で調理中、周辺を焼損する火災が発生した。			静岡県	○使用者は、調理油過熱防止装置の付いていない左側こんろで天ぷら油を加熱していた。 ○使用者は、こんろに火をつけたままその場を離れており、異常に気がついて台所に戻ると、鍋から炎が上がっていた。 ○当該製品には、ガス漏れなど異常は認められなかった。 ●当該製品に異常が認められないことから、使用者が調理油過熱防止装置の付いていない左側こんろで天ぷら調理を行い、火をつけたままその場を離れていたため、油が加熱し発火に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動禁止」、「揚げ物調理するときは必ず温度センサー付きバーナを使用する」旨、記載されている。	
B1G11- 379	2011/11/10	2013/03/18	ガスふろがま用バーナー(LPガス用，半密閉式(CF式))	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			茨城県	○当該製品は、空だき安全装置の配線が短絡状態となっていて、機能しない状態だった。 ○当該製品の操作ツマミが熱の影響で変形し、空焚きによって、熱交換器の銅が溶け落ちていた。 ○当該製品は正常に作動し、ガス漏れは認められなかった。 ○当該製品と接続していたふろがまは約2年前に交換したが、施工業者は特定できなかった。 ●当該製品の空だき安全装置が、ふろがま交換時に適切に結線されなかったことから、空だき時に空だき安全装置が機能せず、過熱状態となったため、火災に至ったものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 378	2011/10/19	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品のグリル部で調理中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。			神奈川県	○当該製品にガス漏れは認められなかった。 ○当該製品の損傷部を交換、補修した後、グリルを燃焼させたところ、正常に燃焼することが認められた。 ○グリル受け皿には炭化物が認められ、普段の清掃は、水で流す程度でほとんど洗っていなかった。 ●当該製品に異常が認められないことから、当該製品のグリル受け皿等に付着した油脂成分に燃焼時の火が引火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書及び本体には、グリルは、使用の都度、溜まった脂は取り除き、洗剤で汚れを洗い流す旨、記載されている。	
B1G11- 377	2011/10/13	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）火災が発生し、現場に当該製品があった。			大阪府	○当該製品のグリルを点火したところ、当該製品後方のガス栓付近から炎が上がった。 ○当該製品に焼損は認められなかった。 ○当該製品にガス漏れは認められず、燃焼状態は正常であった。 ○使用者は、当該製品後方の2口ガス栓の両方を開放したが、一方は未使用であった。 ●当該製品に異常が認められないことから、未使用のガス栓を開放したため、ガスが漏れて点火時のスパークにより引火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 376	2011/10/12	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品のグリル部を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			広島県	○使用者は、当該製品のグリルで調理中に、その場を離れていた。 ○当該製品には出火に至る異常は認められなかった。 ●当該製品のグリルで調理中に、その場を離れたためグリルが過熱し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 375	2011/10/05	2013/03/18	ガス炊飯器（都市ガス用）	（火災）当該製品の内釜と蓋を外し、種火を点けたまま外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			静岡県	○使用者は、炊飯後に蓋と内釜を取り出したまま外出していた。 ○当該製品の外わくは、ゴム管接続部周辺が著しく焼損し、ホースエンド部のゴム管は焼損していた。 ○当該製品の種火レバーは、押された状態になっていた。 ○当該製品の内部には、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、焼損状況からゴム管接続部からのガス漏れによる引火の可能性も考えられるが、取り付け状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品は種火レバーが押された状態になっており、内釜がない状態で種火がついていたものと考えられ、内部にも出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 374	2011/09/27	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、重傷1名）作業場で当該製品を使用中、建物が全焼する火災が発生し、1名が火傷を負った。			愛知県	○使用者は、当該製品の左右のこんろで湯を沸かしていたが、火をつけたまま約1時間その場を離れていた。 ○当該製品の周囲には、段ボールなどの可燃物が多量に置かれていた。 ○当該製品は、事故前に異常は認められなかった。 ●使用者が、当該製品の左右こんろで湯を沸かし、火をつけたままその場を離れたため、周囲の可燃物に着火して火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動禁止」、「機器の上や周辺に可燃物や引火物を置かない、近づけない」旨、記載されてい	
B1G11- 373	2011/09/19	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）当該製品のグリル部で調理中、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			北海道	○使用者は当該製品のグリルで魚を焼いたまま、その場を離れていた。 ○当該製品のグリルには過熱した痕跡が認められ、グリル皿には炭化した魚が認められた。 ●当該製品のグリルで調理中に、その場を離れていたためグリルが過熱し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま就寝・外出はしない」旨、記載されている。	
B1G11- 372	2011/09/15	2013/03/18	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，屋外式（RF式））	（火災、軽傷1名）1名が軽傷を負う火災が発生し、現場に当該製品があった。			滋賀県	○当該製品に焼損は認められなかった。 ○当該製品に出火に至る異常は認められなかった。 ●当該製品に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 371	2011/09/14	2013/03/18	ガスふろがま（都市ガス用，密閉式（BF式））	（火災、軽傷1名）可燃性ガスのスプレーを使用し、浴室の扉を清掃後、当該製品の点火操作をしたところ、爆発して周辺が破損し、1名が火傷を負う火災が発生した。			東京都	○当該製品にガス漏れは認められず、点火性能や燃焼状態に異常は認められなかった。 ○外観に変形はなく、機器内部の部品や配線類に変形、焼損等は認められなかった。 ○LPガス使用のパーツクリーナーを浴室の扉のレール付近に約10秒間吹き付けた直後、当該製品付近でLPガスを検知した。 ○浴室の床面は出入口のレールより約90mm低くなっており、当該製品のバーナー部は床面から約60mmの高さにあった●当該製品に異常が認められないことから、使用者が浴室の扉のレールにLPガス使用のパーツクリーナーを噴射後、当該製品の点火操作を行ったため、当該製品の周囲に滞留していたLPガスに、点火時のスパークが引火し、事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「機器の周囲では引火性危険物を使用しない」旨、記載されている。	・使用期間：8年6ヶ月

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 370	2011/09/08	2013/03/18	ガスふろがま（都市ガス用）	（火災）当該製品のタイマーをセットし使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。			奈良県	○熱交換器に過熱の痕跡が認められ、循環パイプのゴム製蛇腹が焼損していた。 ○浴槽には水がなく、浴槽の排水栓は排水口に半分かかった状態であった。 ○本体から空だき安全装置が外され、当該製品の前扉付近にあった。 ○空だき安全装置に焼損等はなく、当該製品に取り付けると正常に作動した。 ○空だき安全装置は、取り外す際は押し回しが必要であり、意図せず外れるものではなかった。 ●当該製品は、浴槽の排水栓が確実に閉まっていなかったことから、浴槽の水が抜け、当該製品運転中に空だきとなったが、空だき安全装置が外されていたため、空だき安全装置が機能せず、空だき状態が継続したことにより、火災に至ったものと推定される。なお、当該製品の販売業者は不明のため、修理履歴等は確認できず、空だき安全装置を取り外した者の特定には至らなかった。	
B1G11- 369	2011/09/08	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災、軽傷1名）当該製品及び周辺が焼損し、1名が火傷を負う火災が発生した。			新潟県	○使用者は、ご飯の入ったアルミ製容器を入れた鍋を当該製品で過熱していた。 ○当該製品に接続されたゴム管とガス栓に巻かれたタオルが焼損していた。 ○当該製品にガス漏れは認められなかった。 ●当該製品に接続したゴム管とガス栓にタオルが巻かれていたため、当該製品を使用中に当該製品の火がタオルに着火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「周囲に可燃物がないところに設置する」旨、記載されている。	
B1G11- 368	2011/08/28	2013/03/18	ガス栓（都市ガス用）	（火災）当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。			北海道	○当該製品は、2日前にガスこんろの取替えの際、引き出し型キャビネット内に設置されたもので、使用者が左側こんろを使用したところ火災になった。 ○当該製品の検査口ボルトが外れて落ちていた。 ○当該製品は、検査口ボルトが外れている場合に、つまみが全開状態では検査口からガス漏れは発生しないが、つまみを半開（全閉から約18度の間）にすると検査口からガスが漏れる構造であった。 ○ガス配管及びガスこんろに漏れは認められなかった。 ●当該製品は、設置業者が検査口ボルトを戻し忘れたため、引き出しの開閉により収納物が当該製品のつまみに接触し、つまみが回って半開になった際に、当該製品の検査口からガスが漏れ、ガスこんろ点火時に引火したものと推定される。なお、取付工事及び使用説明書には、「各試験完了後は、必ず検査口ボルトを検査口に確実に締付けてください。（ガス漏れの原因になります）」旨、記載されている。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 367	2011/08/25	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品のグリルで調理中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。			愛知県	○当該製品は、右こんろ器具栓周辺が焼損していた。 ○左右の汁受け皿には、腐食による複数の大きな穴が空き、こんろ内部は腐食していた。 ○底面に取り付けられているガス導管は、右こんろ器具栓付近が腐食し、穴が空いていた。 ●当該製品は、使用者が煮汁などにより腐食して穴の開いた汁受け皿を使い続けていたため、当該製品の内部に煮汁などが入り込み、ガス導管が腐食してガス漏れが生じ、グリルの炎が引火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 366	2011/08/19	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。			和歌山県	○使用者は、調理油過熱防止装置が付いていない側のバーナーを使用して天ぷらを調理していた。 ○使用者は調理中にその場を離れていた。 ●当該製品の調理油過熱防止装置が付いていない側のバーナーで、天ぷらを調理中にその場を離れていたため、天ぷら油が過熱し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「揚げもの調理をするときは必ず標準バーナーをお使いください」、「火をつけたまま機器から絶対にはなれない」旨、記載されている。	
B1G11- 365	2011/08/15	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			千葉県	○使用者は、当該製品にやかんを載せて点火し、火をつけたままその場を離れていた。 ○当該製品は、樹脂製つまみが熱溶融していたが、ガス漏れはなく、器具栓のつまみ軸を回すと正常に点火燃焼し、異常は認められなかった。 ○やかんは、空だき状態になっていた。 ●当該製品にやかんを載せて点火し、火をつけたままその場を離れていたため、やかんが過熱し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火災のおそれがあるため、火をつけたまま機器から絶対にはなれない。」旨、記載されている。	
B1G11- 364	2011/08/13	2013/03/18	ガスカートリッジ直結型ガスこんろ	（重傷1名）当該製品にガスボンベを接続し使用後、ガスボンベを外した際、ガスが漏洩し、近くで使用していた炭火が引火、1名が火傷を負った。			千葉県	○火災前には、当該製品を正常に使用しており、出火時は、当該製品を消火していて未使用状態であった。 ○当該製品に著しい変形、腐食はなく、ガス漏れは認められなかった。 ○当該製品と接続していたガスボンベの中に、ハウジングが溶け落ちていた。 ●当該製品に異常が認められないことから、使用者が当該製品をガスボンベから取り外す際、ガスボンベ内のハウジングが溶け落ちたため、ガスボンベからガスが噴出し、漏れたガスに付近の炭火が引火し、事故に至ったものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	〇当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 〇使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 〇当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 〇当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 〇空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 〇空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	〇使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 〇ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 363	2011/08/13	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（LPガス用，屋外式（RF式））	（火災）当該製品を焼損し、建物を半焼する火災が発生した。			長崎県	〇当該製品は出火時に使用していなかった。 〇本体の外郭は内側より外側の焼損が著しかった。 〇本体に接続された電源コードが断線しており、断線部に溶融痕が確認されたが、溶融痕解析を行ったところ、ほぼ二次痕と判断された。 〇当該製品の下方付近に焼損した可燃物があった。 ●当該製品の内部に出火の痕跡が認められないことから、外部からの延焼によって焼損したものと推定される。	
B1G11- 362	2011/08/09	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。			愛知県	〇使用者は、グリルに食材を入れて点火し、火をつけたままその場を離れていた。 〇使用者が台所に戻ると、当該製品周辺で火災が発生していた。 〇当該製品は、グリル排気口周辺が著しく焼損していた。 ●当該製品のグリル使用中に、火をつけたままその場を離れたため、食材などが過熱されて出火し、グリル排気口から炎が溢れて周辺の可燃物に引火して火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 361	2011/08/02	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（元止式）（LPガス用，開放式）	（火災）当該製品を点火操作したところ、当該製品下方から出火する火災が発生し、周辺が焼損した。			長野県	〇当該製品の下方の流し台に置かれていた台所用スポンジと、スポンジを入れていた樹脂容器が焼損していた。 〇当該製品は、外観及び内部に焼損はなく、ガス漏れも認められなかった。 〇当該製品は点火ボタンを押したときに着火不良は発生せず、燃焼状態も良好で、消火時も直ぐに燃焼が停止した。 〇現場のその他のガス機器及びガス配管にもガス漏れは認められなかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品には着火不良などの異常は認められないことから、何らかの原因により、流し台付近に滞留していた未燃ガスに引火した可能性が考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	・使用期間：不明（製造時期から8年と推定）
B1G11- 359	2011/07/09	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，半密閉式（CF式））	（火災）当該製品を焼損する火災が発生した。			新潟県	〇当該製品のガス通路部に漏えいは認められなかった。 〇当該製品は正常に作動し、異常は認められなかった。 〇当該製品に接続されたガス栓からガスの漏えいが認められた。 ●当該製品に出火に至る異常は認められないことから、当該製品に接続されたガス栓からガスが漏えいし、当該製品の火が引火して火災に至ったものと推定される。	・使用期間：約10年

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 358	2011/07/07	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災、重傷1名）当該製品から漏れたガスに引火する火災が発生し、1名が負傷した。			長野県	○当該製品には、焼損や破損は認められなかった。 ○回転式の点火つまみは、点火側に回され、粘着テープで固定されていた。 ○当該製品にガス漏れはなく、立ち消え安全装置は正常に作動した。 ●当該製品の立ち消え安全装置は、正常に作動することから、点火つまみが回されて固定されていたためガスが漏えいし、何らかの火源により小爆発が発生したものと推定される。	
B1G11- 357	2011/07/01	2013/03/18	開放式ガス温風暖房機（LPガス用）	（火災）当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			石川県	○出火当時、当該製品と繋がるガス元栓は閉められており、電源プラグは差されていたが未使用状態であった。 ○本体は、全体的に焼損しており、特に上部の焼損が著しく、難燃樹脂製天板が溶け落ちていた。 ○基板で焼損の著しい箇所は、二次側回路であり、ほぼパターンが残存しており、メイン基板の電流ヒューズに断線も認められなかった。 ○電源コードや配線には、断線などの異常は認められなかった。 ○他の電気部品などには、発火痕跡は認められなかった。 ●当該製品に出火に至る異常が認められないことから、外部からの延焼によって焼損したものと推定される。	
B1G11- 356	2011/06/27	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品で調理中、外出したところ、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。			兵庫県	○使用者は、当該製品のグリルで調理中に外出した。 ○グリル庫内の受け皿には、食材の燃えかすやススが多量に認められた。 ○当該製品の下には、可燃物（ふきん）が置かれていた。 ●当該製品のグリルで調理中にその場を離れたため、グリルが過熱して、当該製品の下にあった可燃物（ふきん）などに着火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動、外出、就寝禁止」、「周囲に可燃物がない場所に設置する」旨、記載されて	
B1G11- 355	2011/06/26	2013/03/18	ガスふろがま（都市ガス用，密閉式（BF式））	（火災）当該製品で浴槽にお湯を張っている途中、外出したところ、隣人が発煙・異臭に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。			福岡県	○当該製品の外郭には、バーナー上部の位置に冠水痕が認められた。 ○当該製品の内部配線の被覆や点火つまみなどが焼損していた。 ○浴室内の排水口は、髪の毛などにより閉塞状態であった。 ●当該製品で浴槽の湯張りをしたまま放置したことにより、浴槽からお湯が溢れ、浴室排水口の排水不良により、当該製品がバーナー部まで冠水したため、炎溢れの状態となり、本体内部配線などを焼損し、火災に至ったものと推定される。	・使用期間：不明（製造時期から約9年と推定）

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 354	2011/06/26	2013/03/18	ガス炊飯器（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、周辺を焼損する火災が発生した。			東京都	○当該製品にガス漏れは認められなかった。 ○当該製品は正常に点火、燃焼した。 ○当該製品に接続していた継ぎ手ホースに亀裂が確認され、ガス漏れが認められた。 ●当該製品に接続していた継ぎ手ホースの亀裂から漏洩したガスが、当該製品の燃焼炎に引火し、事故に至ったものと推定される。	A201100264(継ぎ手ホース（都市ガス用））と同一事故。
B1G11- 353	2011/06/20	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（元止式）（都市ガス用，開放式）	（火災）当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。			京都府	○事故当日、当該地域では、地中に埋設された水道管が破裂してガス管の中に水が入り込み、ガスの圧力が高くなるなどの事故が発生していた。 ○当該製品のガス電磁弁内部には、水や砂が入り込んでいた。 ○当該製品のガスガバナの弁には、高いガス圧が加わった痕跡が認められ、ガスガバナの樹脂部品が焼損していた。 ○バーナー及び熱交換器に異常燃焼の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、地中に埋設された水道管破裂事故の影響によりガス管が損傷し、ガス管の中に水が入り込み、供給ガス圧が高くなったため、当該製品のガスガバナ部からガスが漏れ、点火時のスパークにより引火し、火災に至ったものと推定される。	製造から10年以上経過した製品
B1G11- 352	2011/06/12	2013/03/18	ガスふろがま（LPガス用，密閉式（BF式））	（火災）当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			山口県	○使用者が当該製品の点火操作を4回ほど繰り返したところ、異常着火した。 ○当該製品の外郭の一部に膨らみが認められたが、内部の部品や配線に焼損は認められなかった。 ○当該製品は口火点火、火移り及び燃焼状態に異常は認められなかった。 ○点火つまみはスムーズに回転し、異常は認められなかった。 ○当該製品及び配管にガス漏れは認められなかった。 ●当該製品には異常が認められないことから、使用者が十分な時間を置かずに点火操作を繰り返したため、当該製品の内部に滞留した未燃ガスに引火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書及び本体表示には、「点火操作を行っても点火しないときは、使用をやめ5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何回も繰り返すと機内に放出したガスに着火して危険である。」旨、記載されている。	・使用期間：2年9ヶ月（当該使用者は8ヶ月）

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 351	2011/06/11	2013/03/18	ガスふろがま（都市ガス用，密閉式（BF式））	（火災、軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し、1名が負傷した。			東京都	○使用者が、当該機器を使用中の浴室内で、可燃性ガスを使用したパーツクリーナーを噴射したところ、当該製品が爆発した。 ○当該製品のケーシング下部が変形していたが、ガス電磁弁は正常に開閉し、ホコリ等の付着はなかった。 ○ガス経路、水経路に漏れはなく、点火性能、燃焼状態に異常は認められなかった。 ●当該製品に異常が認められないことから、当該製品を使用中の浴室内で可燃性ガスを使用したパーツクリーナーを噴射したため、浴室内に可燃性ガスが滞留し、滞留したガスに当該製品の炎が引火し、火災に至ったものと推定される。	・使用期間：不明（製造時期から7年と推定）
B1G11- 350	2011/06/10	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（重傷1名）当該製品で調理中、当該製品から片手鍋が落下し、火傷を負った。			東京都	○使用者が当該製品で調理中に移動しようと身体の向きを変えたところ、左バーナー上に置いていた直径約190mmの片手なべの取っ手に左手が軽く触れて、なべが床に落下した。 ○片手なべは、砂糖約25g、水約10ccを入れ、五徳の中心から手前に約2cm、取っ手を手前にして正面から約30度右側に向けて置いていた。 ○当該製品の左バーナーの五徳に、変形やがたつき等の異常は認められなかった。 ○調理油過熱防止装置のバネの反発力は、基準を満たしていた。 ○事故発生時に使用していた片手なべに事故発生時と同程度の量の水を入れて、事故発生時と同様な位置に当該製品に置いたところ、取っ手は当該製品の前面からはみ出し、なべ底の一部が浮いた状態となった。 ●当該製品に異常が認められないことから、片手なべを当該製品のバーナーの五徳の中心に置かず、取っ手が当該製品の前面からはみ出し不安定な状態となっていたため、使用者が移動した際、左手が片手なべの取っ手に触れてなべが落下し、事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「片手なべは不安定な状態にならないよう取っ手を機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置く等、安定した状態で使用する」旨、記載されている。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 349	2011/06/01	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，半密閉式（CF式））	（火災）店舗の厨房で火災が発生し、現場に当該製品があった。			神奈川県	○当該製品の表面は汚れが少なかったが、内面やその周辺（湯沸器下のガス接続部、壁面）には多量の油分が付着していた。 ○ガス通路部にガス漏れは認められなかった。 ○使用者は、事業者が推奨していた定期診断を受けていなかった。 ●当該製品の内部に多量の油分が付着していたため、当該製品を使用中に、バーナーの火が当該製品内部の油分に着火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「2年に1度程度（使用頻度の高い場合には1年に2度程度）バーナーや各部の作動が正常かどうか点検することを推奨する」旨、記載されている。	・使用期間：14年
B1G11- 348	2011/05/31	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，屋外式（RF式））	（火災）当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。			鹿児島県	○当該製品は、海岸沿いの集合住宅に設置されていた。 ○当該製品は全体に著しく腐食し、本体底板はなく、本体前ケースの排気口付近が一部欠落していた。 ○当該製品のガス接続口付近は腐食が著しく、一部が割れていた。 ○電装ユニット基板や電源コードに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、海岸沿いに設置されていたため、塩害によって当該製品のガス接続口付近の腐食が進行したことにより、ガス通路部に亀裂が生じてガスが漏洩し、点火時のスパークなどにより引火し、焼損に至ったものと推定される。	
B1G11- 347	2011/03/30	2013/03/18	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式（RF式））	（火災）当該製品を使用中、当該製品を汚損し周辺を焼損する火災が発生した。			神奈川県	○約14年使用の当該製品の前カバーと排気口内部にススが付着していたが、外観及び内部に焼損は認められなかった。 ○給湯側熱交換器に多量のススが詰まっており、不完全燃焼状態であった。 ○ガス配管及び内部のガス通路に、ガス漏れは認められなかった。 ○使用者は、当該製品上部と天井との間に木枠を介し、センサーライトを設置していた。 ○使用者は、当該製品が2週間ほど前から調子が悪かったことを認識していた。 ●当該製品上部には可燃物が設置されており、また、使用者は、以前から調子が悪いことを認識したまま使用を継続していたことから、長期使用による給湯側熱交換器のスス詰まりによって不完全燃焼が生じ、排気口から火の粉等が放出され、可燃物に付着して出火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「機器及び排気口の周囲に燃えやすいものを置かない」旨、「異臭等異常があった場合は修理、点検す	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 346	2011/03/28	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。			北海道	○当該製品の左側こんろにはお茶の入ったやかんが載せられ、右側こんろには電源コードが外されたホットプレートが載せられており、ホットプレートの樹脂部は焼失していた。 ○当該製品は全体的に焼損しているが、出火の痕跡は認められなかった。 ○点火つまみの軸は、こんろ、グリルともに「閉」の位置であった。 ●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火の痕跡が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 345	2011/02/25	2013/03/18	カセットこんろ	（火災）当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			滋賀県	○当該製品は、キャスター付きワゴン（3段）の中段に、カセットボンベを装着したまま保管されており、ワゴンの下段には、別のカセットこんろがカセットボンベを装着したまま保管されていた。 ○当該製品の底面に焼損が認められ、樹脂製の脚は焼損していた。 ○当該製品に装着されていたカセットボンベが破裂していた。 ○ワゴン下段のカセットこんろは、器具栓つまみが点火側に回っていた。 ●当該製品は、ワゴン下段のカセットこんろが何らかの原因で点火したことにより下方から加熱され、当該製品に装着されていたカセットボンベが過熱して内圧が高くなって破裂し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 344	2011/08/22	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式（RF式））	（火災）当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。数日前から点火不良等の不具合が発生していたが、そのまま使用していた可能性もある。			大阪府	○当該製品は、業務用途（喫茶店）として長期間（約16年）使用されており、数日前から点火不良や湯温度異常等の不具合が発生していた。また、当該製品は修理予定であったが、使用を継続していた。 ○給気口に埃の付着が認められた。 ○熱交換器のフィンにススが詰まり、排気部内面に大量のススの付着が認められた。 ○当該製品の直上（4cm）には木製のベランダ床があった。 ●当該製品は、長期使用（約16年）により、給気部に埃が付着して給気不足から不完全燃焼となり熱交換器にススが詰まり、点火不良や湯温異常等の不具合が発生していたが、使用者は不具合を認識しながら使用を継続したため、不完全燃焼により排気口に滞留した未燃ガスにバーナーの火などが引火して排気口から炎が出て、直上のベランダ床等を焼損し、火災に至ったものと推定される。なお、当該製品の直上にベランダ床があり、離隔距離を満たしていなかったことも事故発生の要因と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 342	2011/06/10	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。			長野県	○使用者は、当該製品でアスファルトを補修する溶剤を加熱し、火を消し忘れて外出していた。 ○当該製品は、調理油過熱防止装置の付いていないこんろであった。 ●使用者が当該製品で溶剤を加熱し、火を消し忘れて外出したため、溶剤が発火して火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「調理目的以外に使用しない。」「火災原因になるため、火をつけたまま外出しない。」旨、記載されている。	
B1G11- 341	2011/06/07	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）当該製品の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで鍋を加熱したまま、外出し戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。壁に立て掛けていた可燃物（樹脂製のまな板）に引火した。			山口県	○使用者は、当該製品の左側こんろに鍋をかけて点火後、約1時間その場を離れていた。 ○左側こんろには、調理油過熱防止装置が付いていなかった。 ○当該製品の近くの壁に立てかけてあった樹脂製まな板が燃えていた。 ●当該製品の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろに鍋を掛けて点火し、その場を離れていたため、当該製品の近傍に立て掛けてあったまな板に着火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 340	2011/05/28	2013/03/18	ガス栓（都市ガス用）	（火災）当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			愛知県	○ガスこんろ点火時に、ガスこんろ背面から炎が上がったため、使用者は当該製品の左ガス栓のつまみを閉めて消火した。 ○左ガス栓には、炊飯器用のゴム管が接続されていたが、炊飯器側でゴム管が外されていた。 ○炊飯器用のゴム管は、炊飯器側の接続部が著しく焼損していた。 ○左ガス栓には、ヒューズ機構は付いていなかった。 ○当該製品は、ガス気密性に異常はなく、つまみの操作もスムーズで、異常は認められなかった。 ●当該製品には、異常は認められないことから、使用者が炊飯器を外していた左ガス栓を誤開放したため、ガスこんろ点火時の火花が漏洩したガスに引火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡１名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 339	2011/05/19	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（元止式）（LPガス用，開放式）	（火災）当該製品を使用後、異臭がしたため確認すると、当該製品より出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。			和歌山県	○当該製品は、ガスこんろの約50cm上方に設置されていた。 ○当該製品内部には、多量の油分及び油分を含んだ綿埃が付着していた。 ○バーナー付近の樹脂部品が焼損していた。 ○熱交換器のフィンに燃焼生成物が詰まっており、当該製品の点火時に炎が大きくなる傾向が認められた。 ○当該製品にガス漏れは認められなかった。 ●当該製品はガスこんろの上方に設置されていたため、当該製品内部に油分及び油分を含む綿埃が多量に付着し、点火時にバーナーから溢れた炎が付近の綿埃に着火して、当該製品を焼損したものと推定される。なお、工事説明書には、「こんろ・レンジなどの直上など、燃焼排ガスの上昇する位置に有効な防護措置なしに設置しない」旨、記載されてい	
B1G11- 338	2011/04/20	2013/03/18	開放式ガス温風暖房機（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、火災が発生し、当該製品が焼損した。			大阪府	○当該製品をテーブルの側面に設置し、その上にこたつ布団を掛けた状態で当該製品を運転していた。また、こたつ布団カバーの端部（ひも状）が焼損していた。 ○当該製品上部の天板及び運転ボタンが熱変形し、背面の給気口上部に変色が認められた。 ○当該製品背面の給気口フィルタが取り外されていた。 ○温度ヒューズは溶断していたが、ヒューズを短絡させて運転した結果、異常は認められなかった。 ○当該製品内部に発火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、背面の給気口のフィルタが取り外され、当該製品にこたつ布団を掛けて使用していたため、当該製品背面の給気口にこたつ布団カバーの端部が入り込み、燃焼部の熱でこたつ布団カバーの端部が焦げて当該製品が焼損し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火災予防のために周囲の可燃物から十分離す」旨、記載されている。	
B1G11- 337	2011/04/18	2013/03/18	ガス衣類乾燥機（都市ガス用）				東京都	○事故当時、アロマエステ店で当該製品を使用してタオルを乾燥していた。 ○当該製品は、ドラム内部から上方に加熱された痕跡が認められた。 ○当該製品のドラム内に残っていたタオルからオイル成分が検出された。 ●当該製品でオイルが残留したタオルを乾燥したことにより、オイルが酸化熱によって発火し、当該製品が焼損して火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書及び製品本体には、「オイルなどの付着した衣類	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 336	2011/04/17	2013/03/18	カセットこんろ	（火災、軽傷2名）当該製品を使用後、消火状態で置いていたところ、当該製品に装着していたカセットボンベが破裂する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損、2名が負傷した。			大阪府	○当該製品は、事故当時、使用されていなかった。 ○当該製品は、カセットボンベを装着した状態であった。 ○現場の石油ストーブ天板には、当該製品の脚とほぼ同じ位置に変形（凹み）や付着物が認められ、付着物は当該製品の脚部と同じ材質であった。 ●当該製品は、事故当時使用されていなかったことから、製品に起因しない事故と推定される。なお、当該製品にカセットボンベを装着したまま使用中の石油ストーブの天板上に置いたため、カセットボンベが過熱され、内圧が上昇して破裂した可能性が考えられるが、石油ストーブの使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	
B1G11- 335	2011/04/16	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，半密閉式（CF式））	（火災）飲食店の厨房で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。			東京都	○当該製品は、厨房の排気フードの下に設置され、専用の排気筒が取り付けられていなかった。 ○厨房の排気フードは、油で著しく汚れており、当該製品上部及び内部には、排気フードから垂れた油が付着し、内部に入った油が焼損していた。 ○当該製品及び厨房のガス設備には、ガスの漏えいは認められなかった。 ●当該製品に専用の排気筒を取り付けず、厨房の排気フードの下に設置したことから、フードに付着した油が、当該製品の内部に入り込み、燃焼時の熱で油が発火し、焼損に至ったものと考えられ、製品に起因しな	
B1G11- 334	2011/04/08	2013/03/18	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式（RF式））	（重傷1名）追い焚きをするため当該製品を使用中、浴槽に足を入れたところ、火傷を負った。			愛知県	○当該製品は、追い焚きにより湯が高温になることはなかったが、循環ポンプから異音が生じ、循環ポンプ内部には、髪の毛などの異物が多量に入り込んでいた。 ○エラー履歴には、循環ポンプが回転していないエラーが2回記録されていた。 ○浴槽循環口のフィルターには、破損などの異常は認められなかった。 ○当該製品は、循環ポンプを掃除後、継続使用され、異常は生じていなかった。 ●当該製品は、何らかの原因で循環ポンプ内に髪の毛などの異物が入り込み、循環ポンプが正常に回転せず、追い焚きが継続し、お湯が高温になっていたことに加え、湯温を確認せずに浴槽に入ったため、火傷を負ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、循環ポンプ内に髪の毛などの異物が入り込んだ原因は特定できなかった。また、取扱説明書には、「入浴の際は手でお湯の温度を確かめてから使用してください。」「循環口のフィルターはすき間がないように取り付けてください。すき間があると故障の原因になります。」旨、記載されている。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡１名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 333	2011/04/03	2013/03/18	ガス栓（都市ガス用）	（火災）当該製品に接続したガスこんろを使用した際、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			愛知県	○当該製品は、ガスこんろのゴム管が接続されていた左ガス栓が「閉」、未接続の右ガス栓が「開」になっていた。 ○右ガス栓は、ヒューズ機構が作動しガスは停止していた。 ○右ガス栓は、コンセント口になっており、ゴムキャップが取り付けられていたが、ゴムキャップは焼失していた。 ○左右のガス栓は、つまみの操作がスムーズで、ガス漏れはなく、ヒューズ機構は正常に作動し、異常は認められなかった。 ●当該製品には、異常が認められないことから、使用者が、ガスこんろを使用する際に、未接続側の右ガス栓を誤って開き、ゴムキャップ部からガス漏れが生じたため、ガスこんろ点火時の火花が漏洩したガスに引火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 332	2011/03/25	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災、軽傷1名）当該製品の調理油過熱防止装置が付いている側のこんろで天ぷら油を加熱中、その場を離れ戻ったところ、当該製品が焼損する火災が発生していた。1名が火傷を負った。			愛知県	○使用者は、調理油過熱防止装置が付いている左こんろで揚げ物をした後、その場を離れていた。 ○使用していた鍋は、底面に丸みと凹凸があり、温度センサーとの密着が不安定な状況であった。 ○鍋に入れていた油は少量ではなく、温度センサーには異常は認められなかった。 ●使用者が、当該製品のこんろの火をつけたままその場を離れていたことに加え、底面に丸みと凹凸のある鍋を使用していたため、温度センサーが油温を正しく検知できず、油が過熱して発火に至った火災と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱い説明書には、「温度センサー上面と鍋底の中心が密着していないときは使用しないこと。温度センサーが働かず調理油が発火することがあります。」旨、記載されている。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 331	2011/03/24	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品で調理中、その場を離れていたところ、鍋から出火する火災が発生していた。			兵庫県	○使用者は、鍋に少量の油を入れ、調理油過熱防止装置が付いていない側のこんろで調理中にその場を離れていた。 ○当該製品に焼損やガス漏れなどの異常は認められなかった。 ●当該製品の調理油過熱防止装置が付いていない側のこんろに、油を入れた鍋をかけたままその場を離れたため、鍋の油が過熱して出火し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま、その場を離れたり、就寝・外出をしない」旨、記載されている。	
B1G11- 330	2011/03/23	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、当該製品のグリルから出火する火災が発生し、当該製品が汚損した。			兵庫県	○当該製品のグリルで魚を焼いていたところ、グリルの排気口から炎が上がった。 ○当該製品のグリル庫内には、多量のススが付着し、グリル排気口内部及びグリル皿に炭化物が認められた。 ○当該製品にガス漏れなどの異常は認められなかった。 ●当該製品のグリルで調理中に、グリル庫内に溜まっていた油脂などに着火し、グリル排気口から炎が出て火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「魚などの焼きすぎに注意する」、「グリル使用後は清掃する」旨、記載されている。	
B1G11- 329	2011/03/20	2013/03/18	ガス栓（都市ガス用）	（火災）当該製品にガスこんろを接続して使用したところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			埼玉県	○当該製品は、ヒューズ機構のない2口ガス栓であった。 ○当該製品は、ガスこんろのゴム管が接続されていた左側が「閉」、ガス機器が接続されていなかった右側が「開」の状態になっていた。 ●使用者が、ガス機器が接続されていない側のガス栓を誤って開き、ガスこんろの点火操作をしたため、漏洩したガスに引火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	ガスこんろ（A201001121）と同一事故

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 328	2011/03/20	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品を使用中、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			埼玉県	○当該製品は、事故当日に購入して設置したものであった。 ○当該製品は、背面が焼損していたが、出火に至るような異常は認められなかった。 ○当該製品に繋がっていたガス栓は、古くてヒューズ機構が無かった。 ○ガス栓は、当該製品のゴム管が接続されていた左側が「閉」、ガス機器が接続されていなかった右側が「開」になっていた。 ●当該製品は、出火に至る異常が認められないことから、使用者が誤ってガス機器が接続されていない側のガス栓を開き、点火操作をしたため、漏洩したガスに引火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	ガス栓（A201100012）と同一事故
B1G11- 327	2011/03/13	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品のグリル部に点火したまま外出したところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			大阪府	○当該製品は、背面が焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。 ○グリル排気口の5cm上にあったゴム管が焼損していたが、出火前のゴム管の設置状況は不明であった。 ○使用者は、火災30分前に外出していたが、外出前にグリルを使用し、火を消し忘れていた。 ●使用者がグリルの火の消し忘れて外出したため、グリル排気口の上部を通していたゴム管が熱損し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの外出禁止。」、「ゴム管は、機器の上や下を通さない。」と記載されてい	
B1G11- 326	2011/03/11	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			神奈川県	○当該製品の前面パネル部分に高さ約160cmのラックが倒れた形跡があり、当該製品のトッププレート上には、ラック上にあったと思われる紙類の燃えた跡が残っていた。 ○4つある操作ボタンは全てロックされておらず、左バーナーの操作ボタンは押された状態であった。 ○当該製品の左バーナーキャップに、燃焼跡と思われる変色が認められた。 ○使用者は、事故当日、施錠をして外出していた。 ●当該製品にはラックの倒れた形跡があり、トッププレート上には、ラック上にあったと思われる紙類の燃えた跡が残っていたことから、事故当日に発生した地震の揺れのため当該製品の正面にあったラックが倒れ、ラックに載せてあった物品が当該製品の上に散乱、併せて、ラックが当該製品の点火ボタンを作動させたことで火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 325	2011/03/11	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品が焼損する火災が発生していた。グリル庫内には取っ手が置かれていた。			兵庫県	○使用者は、当該製品のグリル部を掃除し、分解したグリル扉をグリルの中で乾かしていた。 ○事故時のグリル点火ボタンの状態は、不明であったが、グリル点火ボタンには、異常が認められなかった。 ●当該製品には、異常が認められないことから、使用者が誤ってグリル点火ボタンを押したため、グリル内で乾かしていたグリル扉が過熱し、取っ手が焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 324	2011/03/11	2013/03/18	ガスふろがま（都市ガス用，屋外式（RF式））	（火災）異臭がした後、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。当該製品の排気口付近にあった可燃物に引火した可能性もある。			兵庫県	○当該製品の排気口に当該製品には使用されていないポリエチレン樹脂の溶融物が付着していた。 ○ガス通路部にガス漏れはなく、燃焼部の閉塞や排気通路にスス付着などの異常は認められなかった。 ○フロントカバーの焼損状態や内部の焼損状況から、外から炙られた痕跡が認められた。 ○本体下部の給水・給湯配管の保温材などに焼損が認められた。 ●当該製品の排気口に付着した何らかの可燃物が排気熱により燃えて落下し、当該製品下方の給水・給湯配管の保温材などに着火して燃え広がり、当該製品が下部から焼損し、火災に至ったものと推定される。なお、当該製品の周辺の可燃物の状況が不明のため、付着物の特定に至らなかった。	
B1G11- 323	2011/03/10	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、軽傷1名）当該製品が焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。			北海道	○使用者は当該製品のグリルに点火後、その場を離れていた。 ○当該製品は全体的に焼損が著しかった。 ○当該製品のこんろ及びグリルのつまみ軸は全て「閉」の位置であった。 ●当該製品のグリル点火後にその場を離れていたため、グリルが過熱し、火災に至った可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	
B1G11- 322	2011/03/09	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）当該製品を焼損する火災が発生した。			東京都	○使用者は、当該製品の調理油過熱防止装置が付いていない右こんろで天ぷら調理を行っていた。 ○使用者は、こんろの火を消し忘れていた。 ●使用者が、当該製品の調理油過熱防止装置が付いていない右こんろで天ぷら調理を行い、こんろの火を消し忘れたため、油が過熱し、発火に至った火災と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対に離れない。」、「揚げ物調理するときは調理油過熱防止装置が付いているこんろを使用する。」旨、記載されている。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 321	2011/02/28	2013/03/18	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（火災）当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			神奈川県	○当該製品は、点火つまみの軸が「閉」位置で固着していた。 ○外郭は、内側よりも外側の焼けが強かった。 ○ガス接続口及び内部ガス機構部には、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、点火つまみが「閉」で固着し、外側の焼損が著しいことから、外部から延焼したものと推定されるが、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	
B1G11- 320	2011/02/19	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、軽傷3名）調理油過熱防止装置の付いていない当該製品で天ぷら油の入った鍋を加熱中、その場を離れたところ、建物が全焼し、3名が負傷する火災が発生した。			滋賀県	○当該製品の右こんろの器具栓つまみは、全開になっていた。 ○使用者は、当該製品の右こんろで天ぷら油を加熱し、火をつけたまま、その場を離れていた。 ●当該製品のこんろの火をつけたまま、使用者がその場を離れたため、天ぷら油が過熱し、発火に至った火災と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 319	2011/02/18	2013/03/18	ガス栓（LPガス用）	（火災）当該製品に迅速継ぎ手を接続して、ガス炊飯器を使用後、近傍に設置されていたガスこんろに点火したところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。			岐阜県	○使用者は、ガス炊飯器の炊飯が終了すると、当該製品に接続した迅速継ぎ手を取り外し、ガス炊飯器を別のテーブルに移動していた。 ○当該製品は、ヒューズ機構付き1口ガス栓であったが、事故時、ガス栓のつまみは半開きの状態になっていた。 ○当該製品は、ガス気密性があり、開閉つまみの操作にも異常がなく、つまみが全開の場合は、ヒューズ機構も正常に作動したが、つまみが半開きの場合は、ヒューズ機構が作動せず、ガスが漏えいした。 ●使用者が、当該製品の開閉つまみを完全に閉めずに、迅速継ぎ手を取り外したことから、ガスが漏えいし、ガスこんろに点火した際に、漏えいしたガスに引火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 318	2011/02/18	2013/03/18	ガスふろがま（LPガス用，屋外式（RF式））	（火災）当該製品が焼損する火災が発生した。			三重県	○当該製品は、集合住宅の通路壁面に設置されており、下部が焼損していたが、内部には、出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品下部のガス配管部分が焼損し、マイコンメーター入口側のガス配管の接続部が緩んでいた。 ●当該製品には、出火の痕跡がないことから、下部のガス配管付近から出火して当該製品が延焼したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 317	2011/02/17	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，半密閉式（FE式））	（CO中毒軽症2名）当該製品を使用中に体の具合が悪くなり、一酸化炭素中毒の疑いで2名が病院に搬送された。			北海道	○当該製品には、ガス機器用の排気筒ではないアルミニウム製のダクトが取付けられており、ダクトには腐食による穴が認められた。 ○当該製品使用時の現場の室内の一酸化炭素濃度は、25ppmであった。 ○1年ほど前から立消えなどの不具合があったが、使用者は修理せずに使用していた。 ○当該製品の給気口には埃が堆積し、熱交換器にはスス詰まりが認められた。 ●当該製品には、ガス機器用の排気筒が取り付けられていなかったことから腐食により穴があき、燃焼排ガスが漏れて室内に入り込んだため、事故に至ったものと推定される。なお、使用者は、当該製品の不具合を知りながら修理を行わずに使用を継続したことや長期使用（約17年）により熱交換器がススで詰まり、不完全燃焼していたことも事故発生に影響したものと推定される。工事説明書には、「排気筒は検査合格品を使用する」旨、記載されている。	
B1G11- 316	2011/02/15	2013/03/18	ガス温風暖房機（都市ガス用，開放式）	（火災）建物が全焼する火災が発生した。現場に当該製品があった。			埼玉県	○前面板の焼損が著しかったが、基板、電源コードには溶融痕がなく、内部からの発火の痕跡は認められなかった。 ○ガス漏れは認められなかった。 ●当該製品に出火痕跡が認められなかったことから、外部からの延焼により焼損し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 315	2011/02/13	2013/03/18	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，開放式）	（火災）当該製品に点火しようとしたところ、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。			北海道	○事故前日に当該製品に接続されたガス配管にガス漏れが認められたことから、当該製品は、屋内に設置したガスボンベからゴム管によりガスが供給されていた。なお、旧ガス配管は、当該製品側の端部がプラグ止めされず、当該製品の下方で開放されていた。 ○当該製品の外郭は下方から炎にあぶられた痕跡が認められた。 ○当該製品にはガス漏れは認められず、出火の痕跡も認められなかった。 ●当該製品に異常は認められないことから、何らかの原因により当該製品の下方で漏えいしたガスに、当該製品点火時のスパークが引火して火災に至ったものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 314	2011/02/11	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、軽傷1名）調理油過熱防止装置の付いていない当該製品で揚げ物を調理中、鍋から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損、1名が火傷を負った。			和歌山県	○使用者は、当該製品の右こんろで天ぷら油を加熱し、火をつけたまま、その場を離れていた。 ○台所に戻ると、鍋から炎が上がっていた。 ●使用者が、こんろの火をつけたまま、その場を離れていたため、天ぷら油が過熱し、発火に至った火災と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対に離れない。特に揚げ物のときは火災のおそれがあります。」と記載されていた。	
B1G11- 313	2011/02/10	2013/03/18	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、軽傷1名）調理油過熱防止装置の付いていない当該製品で揚げ物を調理中、目を離していたところ、当該製品が焼損する火災が発生し、 1名が火傷を負った。			山口県	○使用者は、当該製品で天ぷら油を加熱し、火をつけたまま、その場を離れていた。 ○台所に戻ると、鍋から炎が上がっていた。 ●使用者が、こんろの火をつけたまま、その場を離れていたため、鍋の油が過熱し、発火に至った火災と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から離れない。」と記載されていた。	
B1G11- 312	2011/02/07	2013/03/18	ガスふろがま（LPガス用，密閉式（BF式））	（火災）当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品の一部が焦げ、周辺が焼損する火災が発生していた。			東京都	○当該製品のガス接続部はネジ接続であるが、ゴム管用接続金具で接続されており、その表面は、腐食により白く変色していた。 ○機器内部に著しく焼損した痕跡は認められなかった。 ○ガス通路部にガス漏れは認められず、燃焼状態は正常であった。 ●当該製品にゴム管が密着して接続されていなかったため、漏れたガスが当該製品内部に入り込み、バーナの炎が漏れたガスに着火して事故に至ったものと推定される。なお、当該製品のガス接続部の施工者の特定には至らなかった。	・使用期間：約11年
B1G11- 311	2011/01/27	2013/03/18	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災、軽傷1名）当該製品でお湯を沸かそうとして、点火操作を繰り返したところ、下部から大きな炎が上がって火災が発生した。当該製品が焼損し、消火の際に1名が火傷を負った。			愛知県	○当該製品は、右こんろの点火ボタン周辺が焼損していた。 ○右こんろの汁受け皿には、煮汁などの付着物が多量に付着していた。 ○右バーナー内部及び混合器内部には、煮汁などの炭化物が多量に入っていた。 ○使用者が右こんろに点火しないため、点火操作を繰り返した際に、当該製品の下部から大きな炎が上がった。 ●当該製品は、煮汁などが右バーナー内部及び混合器内部に浸入し、正常な燃焼ができない状態になっていたため、点火時に炎がノズル側に溢れ、点火ボタンに着火して焼損に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 310	2011/01/21	2013/03/18	ガスファンヒーター（都市ガス用，開放式）	（火災）当該製品を使用中、当該製品上部から出火する火災が発生し、当該製品が一部焼損した。			東京都	○当該製品は、背面のガス接続口上部の外郭樹脂が焼損していた。 ○当該製品には、ガス漏れはなく、燃焼不良は認められなかった。 ○背面のガス接続口は、迅速継ぎ手式であったが、使用者は、絹巻ゴム管を接続していた。 ●当該製品には、ガス漏れなどの異常が認められないことから、使用者が専用ゴム管を接続してなかったため、ガス接続口からガスが漏洩し、引火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「ガス接続は、専用の強化ガスホースを使用する。ガス漏れの原因になります。」と記載されている。	
B1G11- 309	2011/09/24	2012/06/04	ガス瞬間湯沸器（LPガス用、屋外式）	(火災)当該製品を汚損し、周辺を焼損する火災が発生した。	左記参照		群馬県	●ガス事業者がLPガス供給地域内で、被害者宅に誤って都市ガス用に熱量変更した当該製品を設置し、被害者が使用したため燃焼不良を起こし、当該製品の排気口から高温の燃焼ガス又は炎が出て可燃物（保温材）に着火し火災に至ったと判断した。	
B1G11- 308	2011/09/16	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	(火災)建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	左記参照		茨城県	●当該製品の火を消し忘れたことにより、鍋（アルミ製）が溶融し、ガスホースにかかったため、ガスホースが溶解、漏洩したガスに当該製品の火が引火し火災に至ったと判断した。	
B1G11- 307	2011/07/16	2012/06/04	ガスふろがま（LPガス用，CF式）	（火災）当該製品に点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	左記参照		鹿児島県	○当該製品の熱交換器周囲の外郭塗装が焼損していたが、バーナー部や熱交換器内部に不完全燃焼の痕跡はなく、ガス流路や電装部品、配線等に焼損はなく、ガス漏れの痕跡も認められなかった。 ○空焚き防止装置のサーモスタットが熱交換器から外されて配線が直結状態に改造されており、空焚き防止装置が作動しない状態であった。 ○事故時、使用者が誤って浴槽に水が無い状態で当該製品に点火したため、空炊き状態となった。 ●当該製品の空焚き防止装置が作動しない状態に改造されていたため、誤って空焚きした際、空焚き状態が継続して火災に至ったものと推定される。なお、当該製品の空焚き防止装置を改造した者及び改造の経緯等は、特定できなかった。	・使用期間：不明（製造期間から15～23年と推定）

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 306	2011/06/30	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	（火災、重傷1名）漏れたガスに引火し、爆発する火災が発生した。建物が全壊し、1名が負傷した。（被害者は、その後死亡）	左記参照		北海道	○当該製品にはガス漏れの痕跡などの異常は認められなかった。 ○当該製品に接続されたゴム管は、当該製品から1mくらいの部分を残して焼失していた。 ○現場に設置された二口ガス栓は焼損し、ゴム管は焼失しているためゴム管の接続状況は不明であるが、X線観察結果から二口ガス栓の片側のみが「開」であった。 ○使用者宅では、前回検針から事故当日までの10日間で1ヶ月の平均使用量の3．5倍のガスが消費されていた。 ○事故当日にガス用マイコンメーターの復旧操作が3回繰り返されていた。 ●当該製品には異常は認められないことから、当該製品に接続されたゴム管から何らかの原因でガスが漏えいし、何らかの火が引火して火災に至ったものと推定されるが、事故当時の状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	平成23年7月4日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済事故
B1G11- 305	2011/05/30	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）当該製品および周辺が焼損する火災が発生した。	左記参照		福岡県	○使用者は、当該製品のこんろで天ぷらと貝汁を調理した後、外出した。 ○当該製品の左側こんろには貝汁入りの鍋、右側こんろには調理後の油入り鍋が載せられ、当該製品の左側の流し台には牛乳パックに入れられた使用済みの油が置かれていた。 ○左側こんろの器具栓は開の位置であり、右こんろとグリルの器具栓は閉の位置であった。 ○こんろの調理油過熱防止装置に異常は認められなかった。 ●当該製品のこんろを使用し、消火せずに外出したため、周囲の可燃物に引火して火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 304	2011/04/02	2012/06/04	ガス瞬間湯沸器（LPガス用，屋外式）	（火災）当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	左記参照		山口県	○事故当時、使用者は外出中で、当該製品は使用されていなかった。 ○当該製品は外側が焼損していたが、基板、バーナー及びガス通路部に焼損はなく、当該製品に発火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の気密を確認したところ、漏れは認められなかった。 ○当該製品のほか、当該製品が設置された外壁と当該製品の下方に置かれたゴミ箱等が焼損していた。 ●当該製品には出火の痕跡が認められないことから、外部からの延焼により焼損したものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 303	2011/03/27	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）建物が2棟全焼する火災が発生した。現場に当該製品があった。	左記参照		広島県	○調理油過熱防止装置の付いていない当該製品のこんろで、凝固剤を入れた天ぷら油を加熱中に、その場を離れていたところ、こんろから火が上がっていた。 ○当該製品は、全体的に焼損が著しかった。 ○左側こんろの上には、溶融した鍋が認められた。 ●当該製品のこんろに天ぷら油に凝固剤を入れた鍋をかけ、点火したままその場を離れていたため、鍋の油が過熱して発火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 302	2011/02/05	2012/06/04	ガス瞬間湯沸器（LPガス用，開放式）	（CO中毒、軽症1名）使用者が当該製品を使用中に気分が悪くなり、一酸化炭素中毒の疑いで病院に搬送された。	左記参照		広島県	○当該製品の防熱フードが外れて排気口の上に載っており、排気が妨げられる状態になっていたが、使用時には換気はされていなかった。 ○当該製品の熱交換器のフィンにはススが大量に詰まっており、防熱フード裏側にはススが付着していた。 ○メインバーナーの混合管の内部に蜘蛛の巣等が詰まった状態で、燃焼時の炎に赤火（不完全燃焼）が認められた。 ●当該製品の排気口の上に載せられた防熱フードにより排気が妨げられ、メインバーナーの内部には蜘蛛の巣等が詰まっていたため、不完全燃焼となり、当該製品使用時に室内の換気が行われていなかったことから、室内の一酸化炭素濃度が上昇して事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「排気口をふきん等で塞がない」、「使用と同時に換気扇を回す等して空気を入れ替える」旨記載されていた。	・使用期間：不明（製造時期から約30年と推定）
B1G11- 301	2011/01/20	2012/06/04	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	（火災）当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。事故時に周辺でエレベーター設置工事を実施していた。	左記参照		福岡県	○事故当日、当該製品が設置された集合住宅で、発電機兼用溶接機を使用した工事が行われており、工事用の金属製足場が当該製品に近接して設置されていた。 ○事故当時、家人は不在で当該製品は使用していなかった。 ○当該製品の電源コード（3芯）が焼損しており、漏電ブレーカー付近の電源コードはアース線の被覆のみが溶融していた。 ●当該製品に工事用の金属製足場の一部が接触し、発電機兼用溶接機の電流が足場を通して当該製品の電源コードのアース線に流れたため、電源コードが異常発熱し、焼損・発火したものと推定される。	
B1G11- 300	2011/01/06	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）建物が全焼する火災が発生した。現場に当該製品があった。	左記参照		東京都	○当該製品はガス漏れ等の異常は認められなかった。 ○使用者は、火災の3時間半ほど前に当該製品のグリルで魚を焼き、食事をしているが、火を消した記憶がなかった。 ●当該製品は、異常が認められなかったことから、使用者が、グリルの火を消し忘れてグリルが過熱され、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡１名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 299	2011/01/02	2012/06/04	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）２棟が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	左記参照		滋賀県	○使用者は事故直前に、当該製品を使用して天ぷらを揚げていた。 ○当該製品は、調理油過熱防止装置の無いこんろであり、全体的に変形や焼損が認められた。 ○当該製品の、左こんろの押しボタンスイッチは、点火状態だった。 ●当該製品は、使用状態であったことから、使用者が、調理油過熱防止装置の無い当該製品で天ぷら調理をしたまま、消し忘れてしまったため、油が過熱されて出火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G11- 298	2011/01/07	2012/06/04	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）調理油過熱防止装置の付いていない当該製品で揚げ物を調理後、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	左記参照		広島県	○使用者は、当該製品の左こんろでフライパンを使って揚げ物を調理後、外出した。 ○当該製品のトッププレートはほぼ全面が焼損しており、特に左側の焼損が著しかった。 ○当該製品の左こんろつまみのみが「開」の位置であった。 ○左右こんろ及びグリルの各閉子（器具栓内部のガスを開閉する部品）は、左こんろのみが「開」の位置であった。 ●当該製品の左こんろで揚げ物を調理後、消火せずに外出したため、フライパンの油が過熱して発火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 297	2011/05/24	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	（火災）建物が全焼する火災が発生し、出火元である台所に当該製品があった。	左記参照		富山県	○使用者は、当該製品のこんろ上に電気炊飯器を載せてガスこんろを点火した。 ○当該製品のこんろの上に焼損した電気炊飯器の釜が確認できた。また、電気炊飯器の電源プラグはコンセントに差し込まれていなかった。 ○当該製品は、焼損が著しくつまみなどの樹脂部品は焼失していた。 ●使用者が当該製品のこんろの上に電気炊飯器を載せて、当該製品のこんろを点火したため火災に至ったものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 296	2011/04/18	2012/06/04	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	（火災）当該製品で風呂の追い焚きをしたところ空焚きとなり、当該製品が焼損する火災が発生した。	左記参照		福岡県	○当該製品の風呂熱交換器や循環管に過熱による変色が認められた。 ○風呂熱交換器に取り付けられている空焚防止装置（風呂過熱感知スイッチ）は、樹脂部が溶融していた。 ○当該製品の安全装置回路の配線が端子接続部で接続位置が変えられており、風呂過熱感知スイッチ回路と湯沸過熱感知スイッチ・温度ヒューズ回路が形成されない状態であった。 ○当該製品のガス接続口から器具栓まで及び器具栓からバーナー炎孔までガス漏れはなかった。 ○当該製品には、修理業者による5回の修理履歴があった。 ●当該製品の安全装置回路の配線が修理業者により端子接続部で接続位置が変更され、風呂及び給湯の過熱防止装置が働かないよう改造されていたため、何らかの理由により空焚きとなった際、過熱防止装置が機能せず火災に至ったものと推定される。	製造から15年以上経過した製品。
B1G11- 295	2011/04/04	2012/06/04	迅速継ぎ手（LPガス用）	（火災）当該製品が接続されたガスこんろの後方から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。	左記参照		長崎県	○当該製品は、ガス炊飯器のゴム管がホースバンドで取り付けられ、２口ヒューズガス栓の左側の迅速継ぎ手用接続口に接続されていた。右側ガス栓のゴム管口にはガスこんろのゴム管が接続されていた。 ○当該製品の摺動環が未接続の位置で焼損していた。 ○当該製品が接続されていた2口ヒューズガス栓は、ガス台から１２０～１３０㎜の高さに設置されていた。 ○事故現場と同程度の高さのガス栓に、ゴム管を取り付けた当該製品の同等品を接続したところ、湾曲したゴム管により同等品がガス栓に押し付けられて、摺動環が未接続の位置でも同等品がガス栓から外れることはなかった。また、摺動環が未接続の位置でガス栓との接続部からガス漏れが認められた。 ●当該製品のガス栓への接続が不完全な接続状態であったため、当該製品とガス栓の接続部からガスが漏れてガスこんろの点火時の火花が引火し、火災に至ったものと推定される。	平成23年4月7日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済事故。平成23年4月14日に消費者安全法の重大事故等として公表済。平成23年4月19日に公表したガス栓（LPガス用）に関する事故（A1G1100056）と同一。

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 294	2011/04/04	2012/06/04	ガス栓（LPガス用）	（火災）当該製品に接続されたガスこんろに点火した際、ガスこんろの後方から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。	左記参照		長崎県	○当該製品の左側ガス栓にはガス炊飯器のゴム管が取り付けられた迅速継手が接続され、右側ガス栓にはガスこんろのゴム管が接続されていた。 ○当該製品は、つまみの一部が焼損していた。 ○当該製品は、性能試験（漏洩試験、ヒューズ作動試験）において、異常は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた迅速継手は、摺動環が未接続の位置で焼損していた。 ●当該製品に接続された迅速継手が不完全な接続状態であったため、当該製品と迅速継手の接続部からガスが漏れてガスこんろ点火時の火花が引火し、火災に至ったものと推定される。	平成23年4月7日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済事故。平成23年4月14日に消費者安全法の重大事故等として公表済。A201100063（迅速継ぎ手）と同一事故
B1G11- 293	2011/03/06	2012/06/04	ガスふろがま（LPガス用，屋外式）	（火災）当該製品を使用中、空焚きによる火災が発生した。	左記参照		福岡県	○使用者が浴槽に水を張って当該製品により風呂を沸かしていたが、途中で水が多いことに気付いたため、栓を外して水を抜き、再度栓をした際、嵌合が不完全であったことから、浴槽の水が抜けていた。 ○当該製品は、空焚きによるものとみられる熱交換器の変色、循環パイプ近傍のサーミスター樹脂部の溶融、循環パイプを接続するゴムパイプの焼損が認められた。 ○空焚き安全装置は、サーミスターのリード線2本が端子部で別のリード線を用いて短絡されており、空焚きになっても燃焼が停止しない状態であった。 ●当該製品の空焚き安全装置が改造されていたため、浴槽の水が抜けて空焚きとなった際、空焚き安全装置が作動せず、燃焼が継続し、火災に至ったものと推定される。なお、当該製品は借家に設置されており、修理履歴等は確認できず、空焚き安全装置の改造を実施した者は不明で	
B1G11- 292	2011/03/08	2012/06/04	ガス瞬間湯沸器（LPガス用，開放式）	（火災）当該製品を使用中、外出し戻ったところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。	左記参照		福岡県	○使用者が当該製品のお湯を出したまま外出して戻ったところ、当該製品から水が漏れた状態で自然鎮火していた。 ○当該製品及び当該製品取付板は下側の焼損が著しく、下方から炙られて焼損した形跡が認められた。 ○当該製品の下方に設置されていたガス管やガス栓は、ガス管の管径変換用管継ぎ手から上方が焼損しており、ガス栓つまみの一部は溶融していた。なお、事故後ガス管類はガス販売事業者により取り外されていた。 ○当該製品のバーナー部に目詰まりや著しいスス付着等の異常は認められなかった。 ●当該製品に接続されたガス管の管径変換用管継ぎ手接続部からガスが漏れて引火し、火災に至ったものと推定されるが、ガス配管類の設置状況が不明なため事故原因の特定には至らなかった。	平成23年3月10日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済事故

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 291	2011/02/10	2012/06/04	ガスストーブ（都市ガス用，開放式）	（死亡1名、火災）集合住宅の1室が全焼し、1名が死亡する火災が発生した。現場に当該製品があった。	左記参照		新潟県	○当該製品に異常は認められなかった。 ○当該製品の上に洗濯物が干されていた。 ○使用者が、当該製品を使用中に洗濯物から出火した。 ●当該製品には、異常が認められないため、使用者が、当該製品の上に洗濯物を干したまま使用をしていたところ、洗濯物が当該製品の上に落下して過熱され、火災に至ったものと推定される。なお、本体表示には、「機器の上方や周囲に洗濯物などを置かない」旨、記載されている。	
B1G11- 290	2011/01/17	2012/06/04	ガス瞬間湯沸器（都市ガス用，開放式）	（火災、軽傷1名）当該製品に点火したところ、爆発が生じ、当該製品及び周辺が焼損、1名が負傷する火災が発生した。	左記参照		佐賀県	○当該製品の外郭等にススの付着は認められたが、焼損や変形等の異常は認められなかった。 ○当該製品の各部にガス漏れは認められなかった。 ○現場建物に近接した地中のガス管に、腐食による穴開きが生じており、ガス漏れが認められた。 ●当該製品にはガス漏れ等の異常はなく、現場建物に近接した地中のガス管に腐食による穴開きが生じていたことから、ガス管の腐食穴開き部から漏洩したガスが室内に侵入し、当該製品を点火した際に引火し、爆発したものと推定される。	平成23年1月19日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済
B1G11- 289	2011/06/16	2012/06/04	ガスこんろ（都市ガス用）	(火災、重傷1名)調理油過熱防止装置がついていない当該製品で揚げ物を調理後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、 1名が火傷を負った。	左記参照		愛媛県	●当該製品に異常は認められなかった。使用者が、調理後、火を消し忘れたことにより、油が過熱し、周囲に引火する火災が発生したものと判断した。	
B1G11- 288	2011/01/29	2012/06/04	ガスこんろ（都市ガス用）	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	左記参照		山口県	●当該製品に異常は認められなかった。当該製品のグリル庫内に調理残渣物が溜まっている中、グリルガラスが割れた状態で調理した後、火を消し忘れたため、火災が発生したものと判断した。	
B1G11- 287	2011/01/31	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	(火災)建物が全焼する火災が発生した。現場に当該製品があった。	左記参照		和歌山県	●当該製品に異常は認められなかった。当該製品の火を消し忘れて使用者が外出したため、周辺の可燃物に引火したことにより火災が発生したものと判断した。	
B1G11- 286	2011/01/17	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	(火災、死亡1名)当該製品及び周辺が焼損し、1名が死亡する火災が発生した。	左記参照		千葉県	●当該製品に異常は認められなかった。当該製品は使用中の状態であったこと及び台所には火源は他になかったことから、当該製品で調理中に使用者の衣服に火が燃え移り、火災が発生したものと判断した。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 285	2011/03/23	2012/06/04	ガス瞬間湯沸器（LPガス用，屋外式）	（火災）当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品が汚損し、周辺が焼損する火災が発生していた。	左記参照		鹿児島県	○使用者が、当該製品使用中に焦げた臭いに気づき確認したところ、排気口から炎が吹き出し、本体から約15cm上方にあった樹脂製波板の屋根を焼損した。なお、当該製品は10日ほど前からお湯が熱くならない状態であった。 ○当該製品は、賃貸の集合住宅で使用されており、大家が当該製品設置後に上方に自転車置き場の屋根を取り付けていた。 ○排気口内部には、多量のスス付着が認められた。 ○当該製品の給気経路には、ススや土埃などが認められ、熱交換器のフィンには、多量のスス詰まりが認められた。 ○燃焼試験を行った結果、黄色の炎色であり、排気口からスス混じりの煙が排出された。なお、給気ファン及びフィンの汚れを除去して燃焼試験を行った結果、正常に燃焼することが確認された。 ○当該製品には、ガス漏れや電気部品からの発火痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、長期（約13年）間、排気を吸い込んでしまう（ショートサーキット）設置状態で使用されるうちに、燃焼状態が悪化してススが発生し、熱交換器のフィンが閉塞して不完全燃焼が生じ、当該製品使用時に未燃ガスが引火して排気口から炎が溢れて、上方近くの屋根に引火し、火災に至ったものと推定される。なお、本体の前パネルには、可燃物との離隔距離（上部30cm以上）を設ける旨、記載されている。	
B1G11- 284	2011/02/26	2012/06/04	ガスこんろ（都市ガス用）	（火災）調理油過熱防止装置の付いていない当該製品で調理中、目を離したところ、建物5棟が全焼する火災が発生した。	左記参照		兵庫県	○使用者は、フライパンに多めの油と食材を入れて当該製品の左側こんろで調理中に、消火せずにその場を離れていた。 ○当該製品は焼損が著しく、操作ボタンや内部の器具栓は焼失していた。 ○当該製品には、調理油過熱防止措置は付いていなかった。 ●使用者が当該製品のこんろにフライパンをかけて調理中に、消火せずにその場を離れたため、フライパンの油が過熱して出火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G11- 283	2011/01/12	2012/06/04	ガス炊飯器（LPガス用）	（火災）火災報知器が鳴動したため確認すると、タイマー機能により炊飯中の当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。	左記参照		愛媛県	○当該製品は、食器棚のスライド収納台の上に設置されており、当該製品の背面側には電気湯沸器が置かれていた。 ○当該製品は、背面側が外部から炙られた焼損状況であった。 ○釜の中はごはんが炊けた状態で、ごはんに焦げは認められなかった。 ○釜を取り出した当該製品の内部に焼損は認められなかった。 ●当該製品に出火の痕跡が認められないことから、外部からの延焼により焼損したものと推定される。	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 282	2011/01/06	2012/06/04	ガスこんろ（LPガス用）	(火災)当該製品の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで揚げ物を調理中、フライパンから出火する火災が発生し、建物を全焼した。	左記参照		鹿児島県	●使用者が当該製品の火を消し忘れたため、フライパンから出火したものと判断した。	
B1G11- 281	2011/01/20	2012/06/04	ガスこんろ（都市ガス用）	(火災、軽傷2名)当該製品の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで揚げ物を調理中、フライパンから出火する火災が発生し、建物1棟が全焼、3棟が延焼、2名が負傷した。	左記参照		東京都	●使用者が当該製品の火を消し忘れたため、フライパンから出火したものと判断した。	
B2G11- 280	2011/12/31	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	口火ノズルの詰りにより、口火の炎が小さくなったことで、メインバーナーへの着火遅れとなり、機器前板に開いた腐食穴を通して、使用者がその熱気の影響を受けたと推定される。口火ノズルの詰りと機器前板に開いた腐食穴はともに経年劣化（約19年使用）によるものと推定される。	なし	あり（軽傷）	福岡県		
B2G11- 279	2011/12/24	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	給湯器を使用したところ、異常音がしたがそのまま使用していた。翌日の朝も使用したが特に異常には気付かなかった。大掃除の為屋外へ出たところ器具内部に炎を発見した。	機器フロントカバーの変形と内部の焼損	無し	千葉県		
B2G11- 278	2011/12/21	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	給湯器を使用したところ、異常音がして、機器から火が出た。	機器フロントカバーの変形と内部の焼損	無し	東京都		
B2G11- 277	2011/12/18	2012/04/12	ガス給湯暖房機（給湯・暖房・ふろ兼用）（都市ガス用，FF式）	外壁塗装工事中で給排気トップが養生シートで覆われていた事で排気閉塞となり器具が異常着火した。	外装の一部変形	なし	大阪府		
B2G11- 276	2011/12/17	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，FE式）	お湯を使用中に火災警報器が作動した。給湯器のフロントカバーに穴明きが発生した	器具内部損傷	なし	岐阜県		
B2G11- 275	2011/12/16	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	・シャワー使用中にお湯の温度が急に高くなり、軽度な火傷を負った。（詳細調査中）	なし	あり（火傷）	大阪府		
B2G11- 274	2011/12/16	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	こんろ使用中、火が消えたので再点火操作を繰返していたところ、火力調節つまみ部より火が吹き出し、向いにあった炊飯器の一部が焼損したとのこと。	火力調節つまみ部一部溶解炊飯器の一部焼損	なし	広島県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 273	2011/12/15 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、機器ケーシングの一部が変形していることを確認した。機器にガス漏れはなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。また、機器に冠水跡を確認した。原因は、冠水などで点火しにくい状態の時、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。（東京都品川区②）	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 272	2011/12/15 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼のお客様宅で、ふろがまケーシングが一部変形しているのを確認した。お客様より「点火時に、大きな音がしたことがあった。」と伺った。機器の確認で、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火時の誤操作で、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。（東京都板橋区）	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 271	2011/12/15 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。お客様より「追いだき点火の際、点火しない為、再点火した時、大きな音がしたことがあったが、変形には気付かなかった。」と伺った。機器を確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火時の誤操作で、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。（東京都品川区①）	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 270	2011/12/15	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	器具を持ち上げたとき器具内部にかけた指先に切り傷を負った。	なし	あり（軽症）	兵庫県		
B2G11- 269	2011/12/14 知	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	ガス会社の定期保安点検時に、外装変形を確認した。	外装の変形	なし	神奈川県		
B2G11- 268	2011/12/13	2012/04/12	カセットボンベ	カセットこんろで鍋をおこなっていた際，新しいカセットボンベに取替え，装着したら炎が40cm上がった。回収したボンベを調べた結果，	なし	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 267	2011/12/12	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	お客様が給湯器を使用中大きな音がしてケーシング等が変形した。	あり	なし	東京都		
B1G11- 266	2011/12/06	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろバーナーで揚げ物調理を行い、その後消し忘れてその場を離れたために火災に至った。	機器周辺壁の汚濁とレンジフードの一部焼損	なし	大阪府		
A2G11- 265	2011/12/06	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，組込型）	使用者が点火しようとしたところ、異常着火し軽度の火傷を負った。ガス事業者、消防、弊社の三者がそれぞれ機器の検証したところ異常が無かった。尚、消防は機器に毀損や異常が無く、周辺に焼損が無いことから火災認定していない。	なし	なし	神奈川県		
B2G11- 264	2011/12/05 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	点火しなかったため修理依頼があり、確認すると前板が変形していた。調査の結果、機器に異常はなく、変形部でハーネスが前板に挟み込まれた状態だったことから、ハーネスを前板に挟んだ状態で閉めたことで前板が変形したものと推定。	機器一部破損	なし	東京都		
B2G11- 263	2011/12/04	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	点火ができないとのいうことで修理出張時に機器内部が一部焼損していることが判明した。機器に冠水のあとがあることから冠水により燃焼中の炎が燃焼室から溢れて内部を焼損したものと推定されるが、再現試験では再現せず、冠水条件と風の複合要因によるものと推定されます。	機器一部破損	なし	大阪府		
B2G11- 262	2011/12/02 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	点火不良との修理依頼を受け訪問したお客様宅にてBF式風呂釜の本体ケーシングの一部に変形と機器内部電装接続端子台の焦げを確認した。	外装の一部変形と機器内部部品の一部焦げ	なし	神奈川県		
B2G11- 261	2011/11/28	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	お客様が給湯使用中に異常着火した。ケーシングが一部変形した。	外装ケーシングの一部変形	なし	千葉県		
B1G11- 260	2011/11/25	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，CF式）	11/25家人が「風呂付近で臭う」とガス会社に連絡した。訪問確認により一部焼損跡を確認した。	器具焼損	なし	大阪府		
B2G11- 259	2011/11/24	2012/04/12	ガス炊飯器（LPガス用）	炊飯器使用中、機器内部より煙が出た。	なし	なし	北海道		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 258	2011/11/21	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，FF式）	機器から異常音がしてケースが変形した。確認の結果、ガス・水回路に漏れはなく、点火動作・燃焼性能等にも問題はなかった。原因は、熱交換器部に結露跡や、バーナケースに水が垂れた跡が確認されたことより、結露水の影響で着火ミスを起こし、点火動作が繰り返され、異常着火に至ったと推測した。	機器変形	なし	岡山県		
B2G11- 257	2011/11/19	2012/04/12	ガスオーブン（都市ガス用）	オーブン使用時に「火傷をした」と通報を受け、事故品を確認したところ、当該機器にガス漏れ等の異常はなく正常な状態でした。当該機器は立ち消え安全装置の無い機種のため、点火ミスに気づかずオーブンドア閉めるとオーブン庫内に未燃ガスが滞留します。点火ミスに気付いた使用者が、滞留した未燃ガスに気付かず再度点火操作を行ったため、点火時のスパークが未燃ガスに異常着火し、熱風が吹き出し軽度の火傷を負うに至ったと推測します。	なし	あり	東京都		
B2G11- 256	2011/11/18	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	機器が変形していることを確認した。お客様より「点火の際、数回の点火ミスの後、音がして機器が変形した」と伺った。確認の結果、水回路にわずかな漏れがあったが、ガス回路に漏れはなく、点火及び燃焼等、機器の性能に問題はなかった。原因として、「点火スパーク異常」「燃焼ファン異常」「排気閉塞」等が考えられたが、弊社ではいずれも異常は確認されず、不具合原因の特定には至らなかった。	機器変形	なし	奈良県		
B2G11- 255	2011/11/17	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	こんろの点火操作をしたところ不着火であったが、何度も繰り返したことに加え、未使用のガス栓を開閉したことで再度点火操作したときに周辺に漏洩したガスに引火し、ガス栓を焼損した。	ガス栓の焼損	無し	岡山県		
B2G11- 254	2011/11/16 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	ガス設備の定期保安点検に伺ったお客様宅でRF式風呂釜のフロントカバーの変形を確認した。お客様からは何時変形したか不明と伺った。	本体前面カバーの一部変形	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災，軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 253	2011/11/16	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器(元止式)(都市ガス用，開放式)	器具のバーナ内部に蜘蛛の巣が張られたことにより、着火時に異常燃焼となった。この影響でバーナ近傍の樹脂部品の一部が焼損したと推測。(詳細調査中)	拡大被害なし	なし	兵庫県		
B2G11- 252	2011/11/15 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	新規開栓作業で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県		
B2G11- 251	2011/11/15	2012/04/12	ガスふろがま(LPガス用，BF式)	需要家がシャワーを使用しようと種火の点火操作を約3回し点火確認用ゲージが約半分のところで点火したところ異音がして本体ケーシングが一部変形した。	製品一部破損	なし	広島県		
B2G11- 250	2011/11/13 知	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器(先止式)(都市ガス用，屋外式)	ガス設備の定期保安点検に伺ったお客様宅で機器の前面カバーの変形を確認した。	本体前面カバーの一部変形	なし	大阪府		
B2G11- 249	2011/11/12	2012/04/12	ガスふろがま(都市ガス用，CF式)	ふろがまから煙が出て、機内の配線が一部焦げているのを確認した。機器を確認した結果、ガス2次回路のノズルホルダー底部が腐食し穴が開いており、過熱防止装置が溶断しガス回路は遮断状態であった。また、機内に冠水跡を確認した。原因は、永年冠水を繰り返したことでノズルホルダーが腐食し、漏れたガスに引火したことで、過熱防止装置や配線類の一部を焦がしたと推測した。	機器内部の一部が焦げる。	なし	東京都		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2:「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 248	2011/11/11	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	使用者からふろ釜が焦げたので点検して欲しい、との連絡を受けてガス事業者が確認したところ、ふろを沸かしている最中に浴槽の水が抜けて空焚き状態となり、循環パイプが焦げて、給水管が破裂して漏水していた。詳細調査の結果、安全装置が正常に接続されていなかったため空焚きを続け、機器の樹脂部が一部熱変形し、給湯熱交換器も加熱されたことで水管内部の圧力と温度が上昇し、樹脂製給水管に穴が開いたものと推定される。	機器一部破損ならびに給水配管の破損および漏水。	なし	三重県		
B1G11- 247	2011/11/11	2012/04/12	ガスふろバーナー（都市ガス用，CF式）	11/12ふろを沸かそうとしたがエラー表示され、ガス臭がした為、ガス会社に連絡した。訪問確認により焼損跡を確認した。	器具焼損	なし	大阪府		
B2G11- 245	2011/11/07 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼のお宅で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器にガス漏れや、部品・配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。また機内に冠水跡を確認した。原因は、冠水の影響で点火しにくい状態であった可能性も含め、点着火操作を繰り返したことなどで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 244	2011/11/04 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス使用の申し込みを受け、伺ったお客様宅にてBF式風呂釜の本体ケーシングの一部に変形を確認したと伺った。	外装の一部変形	なし	埼玉県		
B2G11- 243	2011/11/04	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	ガスこんろの右バーナーと左バーナーの間にお茶を入れるプラスチック製容器を置いたまま右バーナーを使用し、消し忘れたため、プラスチック容器をが融けた。	無し	無し	静岡県		

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 242	2011/10/31 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼のお客様宅で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 241	2011/10/31 知	2012/04/12	ガス給湯暖房機（都市ガス用，FF式）	修理依頼を受け、訪問したお客様宅で機器のフロントカバーの一部が変形していることを確認した。	フロントカバーの変形	無し	東京都		
B2G11- 240	2011/10/31	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	清掃業者がガステーブルこんろ周辺を清掃していた所出火しこんろ周辺に置いていたまな板等に燃え移りガスこんろ、換気扇、壁の一部を焼損。	製品、換気扇、壁の一部焼損	なし	佐賀県		
B2G11- 239	2011/10/29	2012/04/12	ガス迅速継手(ゴム管用ソケット)（都市ガス用）	一般家庭の台所にてテーブルコンロ横のガス栓とガスストーブに接続しているホースの接続部より火が出たとのことで現場確認したところソフトコードと迅速継手の一部が焼損していた。原因は、迅速継手の差し込みが不完全な状態でガス栓を開き、ガスこんろを使用したため、漏洩したガスにこんろの炎が引火したもの推測。【詳細調査中】	ソフトコード及び迅速継手の一部焼損	なし	大阪府		
B2G11- 238	2011/10/29	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	点火操作をしたが点火しなかった。5分程度時間をおいて再度点火操作を行った時に異常着火して、フロントカバーの下部が外れた。	機器フロントカバーとケーシングが一部変形	なし	滋賀県		
B2G11- 237	2011/10/26	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	修理依頼で訪問したお客様宅で代替の給湯器を取付する際に機器背面の損傷を発見した。	本体背面の損傷と外壁に焦げ跡があり。	なし	宮崎県		
B2G11- 236	2011/10/21 知	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	お湯が熱くならないとのお申し出で、ガス事業者の協力企業が出張したところ、機器内部が一部焼損していた。調査の結果、機器使用中に冠水状態となり瞬間的に炎が溢れて端子台、ハーネスの一部を焼損したものと推定。	機器内部一部焼損	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 235	2011/10/21 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器にガス漏れはなく、部品や、配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。お客様より「以前に、排水状態が悪いため、設備業者が改善したことがあった」と伺った。原因は、冠水などの影響で点火しにくい状態の時、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 234	2011/10/21	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，CF式）	製品交換依頼のお客様宅で、ふろがま天板の一部の変色や、機内配線の一部が焦げているのを確認した。機器を調査した結果、ガス回路に漏れはなく、焼損部品の交換後は、性能に問題ないことを確認した。また、機内に冠水跡が確認した。原因は、冠水によりメインバーナへ正常にガスが噴出できず、ノズル部で溢れた未燃ガスが口火に引火し、機内の配線等を焼損したものと推測した。	機器内部の一部が焦げる。	なし	東京都		
B2G11- 233	2011/10/20 知	2012/04/12	ガス迅速継手（都市ガス用）	ガス事業者殿の定期保安点検で、ガス炊飯器との接続部に使用されていたガス迅速継手のゴム管部に焼損跡を確認。事故原因は、長期間（37年）の使用によりゴム管部が劣化して微量のガスが漏洩して着火に至ったと推測。（詳細調査中）	器具の一部焼損	なし	東京都		
B2G11- 232	2011/10/20	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	お客様より風呂点火時にボンと音がして風呂釜が変形、焦げ臭もしたとの連絡を受けガス事業者の緊急部署が訪問、調査したところBF釜のケーシングが一部変形しているのを確認した。	外装ケーシングの一部変形	なし	埼玉県		
B2G11- 231	2011/10/19 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 230	2011/10/19 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県		
B2G11- 229	2011/10/19	2012/04/12	カセットこんろ	消費者が点火したところ20cm程度の炎がこんろの周囲に噴出した。消費生活センターでボンベ（事故時非純正品）を装着してみると、ガス漏れの音がした。	こんろ破損	無し	愛知県		
B2G11- 228	2011/10/18 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	ガスメーターの検診に訪問したお客様宅でガス給湯付ふろがまの前面カバーの変形を確認した。2009年に外壁塗装工事を行ったが、変形には気付かなかったとの事を伺った。	本体前面カバーの一部変形	なし	東京都		
B2G11- 227	2011/10/17 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県		
B2G11- 226	2011/10/13 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	ガス設備の定期保安点検に伺ったお客さま宅でRF式風呂釜のケーシング及びフロントカバーの一部に変形を確認した。調査の結果、変形はフロントカバーのみで、外圧による変形と推定される。	ケーシング、フロントカバーの一部変形	なし	東京都		
B2G11- 225	2011/10/12 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 224	2011/10/12 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼を受け訪問したお客さま宅にて、BF式風呂釜の内部に焦げ（焼損）があるのを確認した。修理依頼は風呂の沸きが遅いとのことであった旨を伺った。	器具内部に焦げ	なし	神奈川県		
B2G11- 223	2011/10/11 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼を受け訪問したお客さま宅にて、BF式風呂釜の内部に焦げ（焼損）があるのを確認した。修理依頼は風呂の沸きが遅いとのことであった旨を伺った。	器具内部に焦げ	なし	東京都		
A2G11- 222	2011/10/10	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	午後6時ごろ、近隣の方より、給湯器から炎が出ているとの指摘を受けた。拡大被害、人的被害は有りませんでした。	器具焼損	無し	東京都		
B2G11- 221	2011/11/08	2012/04/12	ガス給湯暖房機（都市ガス用，屋外式）	ふろ給湯器を使用した時に異常音がした。通報を受けたガス事業者が訪問し機器の前面カバーの変形を確認した。塗装工事用の養生シートで給湯器の排気口が覆われていた。塗装業者からは部屋の換気口と勘違いしシートで養生したとの事であった。	外装の一部変形	なし	兵庫県		
B2G11- 220	2011/10/07	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，屋外式）	建屋の大家さまより給湯器から火が噴いたので見て欲しいと連絡を受けた。ガス事業者が訪問し確認するも給湯器の排気口には煤の付着も無く、焦げ等も見られなかった。大家様が消防へ連絡したと伺った。	なし	なし	東京都		
B2G11- 219	2011/10/07	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	繰返しの点火操作時に、バーナー以外の場所に着火した。	器具内部配線一部焼損	なし	埼玉県		
B2G11- 218	2011/10/07	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	魚を焼くためにグリルを使用中、消し忘れたために、機器内に堆積した油脂分が発火した。	無し	無し	広島県		
A2G11- 217	2011/10/06	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	グリルにて魚を焼いている時に、コンロを点火したら炎が高く上がったとのこと。異常燃焼したとの通報を受け機器を確認すると、コンロの天板裏側の一部に変色した痕を確認しました。【詳細調査中】	機器の一部焼損	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 216	2011/10/05 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス使用申し込みのお客様宅、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス・水回路に漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能や、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 215	2011/10/04 知	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	お湯にならないとの修理依頼を受けて、機器を確認したところケーシングが変形していた。経年使用によりパイロットノズル孔への埃付着の影響でパイロットバーナーの炎が小さくなり、メインバーナーへの火移りが遅れたために異常着火してケーシングが変形したものと推定されます。	機器一部破損	なし	東京都		
B2G11- 214	2011/10/04 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス使用申し込みのお客様宅、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス・水回路に漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能や、燃焼状態等に問題なかった。原因は、点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 213	2011/10/03	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，屋外式）	ふろ釜を点火したら焦げた臭気を感じたため、リモコンで運転停止したが動かなかった。その後、屋外で確認すると本体から火が出ていたので水を掛けて消火した。29年使用により熱交換器が煤で詰まっており、その状態で使用したため炎が溢れて内部の樹脂部品、シールパッキンおよびケーブルの被覆を焼損したもの。	機器の一部焼損	なし	神奈川県		
B2G11- 212	2011/09/30	2012/04/12	ガス迅速継手（ゴム管用ソケット）（都市ガス用）	使用者がお湯を沸かすためにガスコンロに火をつけたところ、ガス栓付近から炎がでたので、ガス栓を止めて消火した。原因は、ゴム管用ソケットとガス栓が不完全な接続状態であったため、漏えいした微量のガスにガスこんろの炎が引火したものと推定。	機器一部焼損，拡大被害なし	なし	愛知県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 211	2011/09/28 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，CF式）	ふろがま内部品の一部が焦げているのを確認し、機内に冠水跡を確認した。原因は、機器使用中冠水したことでノズルから未燃ガスが溢れて、口火の炎が引火し部品の一部を焦がしたものと推測した。	機器内部品の一部が焦げる	なし	神奈川県		
B2G11- 210	2011/09/27	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	点火動作を繰り返し、点火確認の為、グリル扉を開け覗いた所、爆発着火し、風圧で眉毛がこげたとの事。	なし	なし	沖縄県		
B2G11- 209	2011/09/26 知	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	長時間点火操作を繰り返したこと、もしくは給湯使用中に湯を流したまま、間違って操作つまみを「止」位置まで回して一旦火を消した後、すぐに給湯の位置へつまみを回して点火操作をしたため、機器内に流出滞留したガスに点火装置のスパークが引火して、異常着火となって機器が変形したものと推測されます。	機器一部破損	なし	東京都		
A2G11- 208	2011/09/26	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	ガス事業者様協力企業がユーザーより修理依頼を受け、訪問した所、天板に煤付着を確認天板を外し、点火操作を行ったところ、機器内部手前で炎を確認したとのこと。	器具焼損	なし	神奈川県		
B2G11- 207	2011/09/25	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	ガス給湯器が着かないとの修理依頼で訪問した。ガス瞬間湯沸器を調査したところ機器内部の電装リード線の焦げを確認したとの事を伺った。	機器内部電装リード線の焦げ	なし	東京都		
B2G11- 206	2011/09/25	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	入浴中にシャワーを使用しようと操作したところ異常着火し、BF式風呂釜のフロントカバーの下部が若干変形（浮き上がり）し、能力切替ツマミが外れたとの事を伺った。	機器フロントカバーの一部変形	なし	高知県		
B1G11- 205	2011/09/24	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	シャワーを使おうとしたら、熱いお湯が出て火傷を負った。機器を調査した結果、ガス回路・水回路に漏れはなく、出湯性能等も仕様内で、正常であった。原因は、誤操作等の可能性が、考えられた。	なし	左ひじ、左ひざの火傷	埼玉県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災，軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 204	2011/09/22	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器(先止式)(都市ガス用，FF式)	修理依頼を受けた保育園の一室に設置している給湯器が変形していると連絡を受け確認したところ、FF式給湯器のフロントカバーの変形を確認した。当該建物は外壁塗装工事中であり、施工者からビニールシートにて当該機器の給排気部を養生したことを伺った。	フロントカバーの一部変形	なし	神奈川県		
B2G11- 203	2011/09/21 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	修理依頼を受け訪問したお客さま宅にて、BF式風呂釜のケーシングの一部に変形があることを確認した。お客様に問診したところ、変形については今まで気付かなかったとの事を伺った。	外装の一部変形	なし	東京都		
B2G11- 202	2011/09/20 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，屋外式)	修理依頼で訪問したお客様宅でガス給湯付きふろがまの本体前面カバーの変形を確認した。お客様からは強風時に立ち消えを起したことはあるが、変形には気付かなかったとの事を伺った。(10階)	本体前面カバーの一部変形	なし	東京都		
B2G11- 201	2011/09/20 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，屋外式)	他室でガス給湯付きふろがまの本体前面カバーの変形が確認された。同事象の発生について建物内を巡回し、機器前面カバーの変形を確認した。お客様からはいつ変形したか不明との事を伺った。(9階)	本体前面カバーの一部変形	なし	東京都		
B2G11- 200	2011/09/20	2012/04/12	ガスこんろ(都市ガス用，卓上型)	繰返しの点火操作で、機器内部配線が焦げ及び操作ボタンの一部が溶けた。	器具内焼損	なし	千葉県		
B2G11- 199	2011/09/20	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	ふろがま内配線の一部が焦げているのを確認した。機内に冠水跡があったことから、原因は、冠水した状態で機器を使用したため、メインバーナへのガスの噴出が妨げられ、機器手前側にあふれたガスが口火の炎に着火し、配線被覆の一部を焦がしたものと推測した。	機器内部の配線の一部が焦げる	なし	神奈川県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 198	2011/09/15 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス設備の保安点検に伺ったお客様宅でBF式風呂釜のケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診した結果、1年程前に口火の着きが悪く、繰り返し点火操作を行ったところ大きな音がしたが、本日の点検まで変形には気付かず。何時変形したかは分からないとの事を伺った。	外装ケーシングの一部変形	なし	東京都		
B2G11- 197	2011/09/12	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，FF式）	給湯器使用時、機器から大きな音がした。ガス事業者が現場確認した結果、外壁塗装工事用養生シートが給排気口を塞いだことによる異常着火と推定。	なし	なし	大阪府		
B2G11- 196	2011/09/11	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	機器点火操作時大きな音がした。外装カバーが膨らんだので確認してほしいと連絡を頂いた。	外装の一部変形	なし	東京都		
B2G11- 195	2011/09/07	2012/04/12	ガス炊飯器（都市ガス用）	炊飯器を点火した際、接続部の器具用プラグ付近から火が出た為ガス栓を閉栓し消火した。	器具一部焼損	なし	神奈川県		
B2G11- 194	2011/09/06 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス設備の保安点検に伺ったお客様宅でBF式風呂釜のケーシングの一部に変形を確認した。お客様へ問診した結果、異常な着火を起こした記憶は無く、変形についても本日まで気付いていなかったとの事を伺った。	外装の一部変形	なし	東京都		
B2G11- 193	2011/09/06	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	・コンロを使用後、暫くしてコンロ左側操作部が発火していたので需要家が消火した。	コンロの一部（点火ボタン）が変形	なし	千葉県		
B2G11- 192	2011/09/03	2012/04/12	ガスレンジ（都市ガス用）	魚を焼くため当該オーブンの予熱を行った後、オーブンの扉を開けた時に庫内から火（熱風）が出て軽度の火傷を負った。【詳細確認中】	なし	軽度の火傷	東京都		
B2G11- 191	2011/09/03	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	9月3日午後9時ごろ、風呂使用中に大きな音がした。フロントカバーの変形とガス臭を確認した。	機器フロントカバーの変形	無し	東京都		
B2G11- 189	2011/09/01 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス設備の保安点検に伺ったお客様宅でBF式風呂釜のケーシングの一部に変形を確認した。お客様へ問診した結果、何時変形したかは分からないとの事を伺った。	外装ケーシングの一部変形	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 188	2011/09/01 知	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	ガス使用の申請を受け、ガス開栓業務に訪問したお客様宅でガス瞬間湯沸器の前面カバーの変形を確認した。お客様は新規入居者で何時変形したかは分からないとの事を伺った。	機器前面カバーの一部変形	なし	東京都		
B2G11- 187	2011/08/31	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	口火がなかなか点火しないため、お客様が点火操作を繰り返している内に異常着火し器具前面カバーの下部が外れたと伺った。	外装の一部変形	なし	埼玉県		
B2G11- 186	2011/08/30	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	追焚き運転をしながら入浴中に、ゴムが焦げる臭いがしたため、点火確認窓より内部に赤い炎を確認した。器具栓を閉めると炎は消えた。調査の結果、排気筒に隙間があることから、追焚きをした際に風の影響で給排気のバランスが崩れ、炎が熱交換器から溢れて、機器内部の部品が焼損したものと推定されます。排気筒の隙間についてはどの時点で発生したか不明でした。	機器内一部焼損	なし	千葉県		
B2G11- 185	2011/08/26 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガスの開栓業務に伺ったお客様宅でBF式風呂釜の外装ケーシングの一部に変形を確認した。お客様は新規入居者の為、何時変形したかは判らないと、また、大家さまへの確認でも何時変形したかは判らないとの事を伺った。	外装の一部変形	なし	神奈川県		
B2G11- 184	2011/08/23	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	ふろ釜の点火操作をしたところ、漏洩滞留していたガスに引火し、1名が軽傷（火傷）を負う事故が発生した。浴室内のガス配管接続部が腐食していたことにより、当該接続部から漏洩滞留したガスが、点火操作の火花により着火、爆発したものと推定されます。	浴室内の壁、折り戸、ガラスの一部破損	軽傷（火傷）	神奈川県		
B1G11- 183	2011/08/20	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	使用者が帰宅後ガスこんろでお湯を沸かしたまま寝てしまい、ガスこんろ付近の可燃物が発火した。	壁・天井併せて約5㎡を焼損	火傷（軽症）	北海道		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 182	2011/08/20	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，組込型）	使用者がガスこんろに点火しようとしたところ、漏洩滞留していたガスに引火したもの、物損、人的被害なし。ガス漏洩原因は消火時に器具栓が完全に閉の位置まで回されず微量にガスが漏洩したか、繰返し点火動作を行ったため、バーナー上部にガスが滞留したものと推定。（立消安全装置のない器具）	なし	なし	茨城県		
A2G11- 181	2011/08/20	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，CF式）	複数回点火操作をおこなった際、普段より大きな音がして点火しなくなった為、修理を依頼した。訪問した会社が内部配線の焼損と前板の一部に焦げを確認した為、ガス会社が機器の使用を禁止した。	器具焼損	なし	東京都		
B2G11- 180	2011/08/20	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	秋刀魚をグリルで焼いていたところ排気口より多量の煙が発生した。グリル受け皿に溜まった油脂や食材にグリルバーナーの炎が引火して、発火に至ったものと推定。詳細調査中。	なし	なし	栃木県		
B2G11- 179	2011/08/17	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，FF式）	ふろ釜の運転をした際に大きな音がしてケーシングが一部変形していることを確認した。当該建物は耐震補強工事を行っており，当該機器の給排気トップがビニールシートで閉塞されている状態であった。このため、燃焼不良を起こし、機器内に滞留した未燃ガスが点火時のスパークに引火したことでケーシングの一部が変形したものと推定。	機器一部破損	なし	東京都		
B2G11- 178	2011/08/17	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	種火を点けようとして、点火ハンドルを4回ほど回したところ、爆発音がして、本体側面から火が出て、機器が膨らんだ。調査の結果機器に異常はないことから、操作つまみを「給湯・シャワー」から「止」にして炎を消したあと、時間を置かずにつまみを「給湯・シャワー」または「追いだき」の位置に回した状態で点火操作をしたため、機器内に流出・滞留したガスに引火したことが推定されます。	機器一部破損	なし	神奈川県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
X2G11- 177	2011/08/17	2012/04/12	カセットこんろ	カセットこんろにやかんを載せ加熱していたところ，ボンベカバーの円穴から炎が出て，近くに置いてあったクッキングペーパーに引火した。原因調査中。	なし	なし	埼玉県		
B2G11- 176	2011/08/16 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	風呂釜のシャワーを使用すると大きな音がする。風呂釜本体も変形したとの連絡を受け、現場確認したところ、BF式風呂釜のケーシングが一部変形していることを確認した。調査の結果、約15年使用によりパイロットノズルの穴が異物で狭くなり、パイロットバーナの炎が小さくなったため、給湯バーナへの火移りが遅くれ、異常着火して変形したものと推定。	機器一部破損	なし	東京都		
B2G11- 175	2011/08/13	2012/04/12	カセットこんろ	他社製ボンベ使用。海水浴場で鉄板を使用してのガス漏れ。	なし	軽いやけど	福井県		
B2G11- 174	2011/08/13	2012/04/12	カセットボンベ	海辺で鉄板を使用してのバーベキューの際，発火し缶が膨れた	器具焼損	軽いやけど	福井県		
B2G11- 173	2011/08/13	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，CF式）	修理依頼のお客さま宅で、ふろがま内部の配線が一部焦げているのを確認した。機器に変形や、機内ガス・水回路に漏れはなく、正常に運転できる状態であった。また、お客様より「日頃から排水状態が悪く、ふろがまが冠水することがあった」と伺った。原因は、冠水した状態で使用したため、メインバーナへのガス噴出が妨げられ、手前側に溢れた未燃ガスが、口火の炎に引火し配線の被覆等を焦がしたものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県		
B2G11- 172	2011/08/11 知	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	ガス設備の保安点検時にガス瞬間湯沸機の前面カバーの一部に変形を確認した。後日、お客様の在宅日に訪問し問診したところ、正常に使用出来ており、変形については気付かなかった事、大家さまからも何時変形したかは不明であると伺った。	外装の一部変形	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 171	2011/08/09 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングの一部が変形しているのを確認した。お客様より、いつ変形したのか分からないことを伺った。機器にガス漏れ・水漏れはなく、機内部品や配線類に損傷等がないことを確認した。口火点火性能やメインバーナへの着火・火移りに問題はなかった。原因は、点着火操作の繰り返し等により、機内に滞留したガスが異常着火を起こしたことによるものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
A2G11- 170	2011/08/08	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	未使用中に出火	器具焼損	なし	長崎県		
B2G11- 169	2011/08/07	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，FE式）	シャワー使用中にお湯の温度が急に高くなり、軽度な火傷を負った。（詳細調査中）	なし	あり（火傷）	三重県		
B2G11- 168	2011/08/05 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼で、ふろがまケーシングの一部が変形しているのを確認した。お客様より、7月半ばごろ、点火操作で大きな音がしたこと。その後、変形に気付き連絡したことを伺った。機器にガス漏れ・水漏れはなく、機内部品や配線類に損傷等がないことを確認した。口火点火性能やメインバーナへの着火・火移り状態に問題はなかった。原因は、点着火操作の繰り返し等により、機内に滞留したガスが異常着火を起こしたことによるものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
X2G11- 167	2011/08/04	2012/04/12	カセットこんろ	しゃぶしゃぶをするためダイニングテーブルの上にカセットこんろを置き，鍋を載せて点火した。10分後炎が出たため，鍋の中身をかけて消火した。原因調査中。	なし	なし	埼玉県		
B2G11- 166	2011/08/04	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼を受けたガス事業者の協力企業が、訪問したお客様宅で外装ケーシングの一部に変形を確認した。お客様への問診から、8月4日に点火が悪く、点火操作を繰り返した時に大きな音がした。器具変形には気付かなかったと伺った。	外装の一部変形	なし	東京都		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
A2G11- 165	2011/08/04	2012/04/12	ガスふろがま（LPガス用，BF式）	点火つまみが固着し動かなくなったとの連絡を受け、販売店が製品を確認すると、ガスコックシャフト部分の樹脂部が溶け、固着している状況を確認した。2011年6月のリコール案件と同一事象と推定されるが詳細調査予定。	機器一部破損	なし	茨城県		
B2G11- 164	2011/07/26	2012/04/12	ガス給湯暖房機(給湯・暖房・ふろ兼用）（都市ガス用，屋外式）	ガスマイコンメータが作動したのでガス事業者に連絡した。ガス事業者が点検したところ、機器内部でガスパイプ接続部からのガス漏れと電装コードの一部焼損している形跡を確認した。	器具内電装コード焼損	なし	福岡県		
B2G11- 163	2011/07/23 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際、ケーシングの一部に変形を確認した。お客様への問診から、数ヶ月前から点火操作を繰り返さないと口火が着き難い状況であったが、大きな音がした事は無くケーシングの変形には気付かなかったと伺った。	外装の一部変形	なし	埼玉県		
X2G11- 162	2011/07/22	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	シャワーを使用中軽微なやけど(赤くなる程度)を負った。リモコン設定温度が変わっていたことを含め原因調査中		やけど（赤くなる程度）	大阪府		
B2G11- 161	2011/07/21	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	入浴中、浴槽残水の追い焚きをしたところ3～5分で途中消炎した。機器故障との判断でガス事業者にて機器交換後、機器内部点検したところ、電装コードの一部に焼損を確認した。	器具電装コード焼損	なし	京都府		
B2G11- 160	2011/07/20	2012/04/12	ガス炊飯器（LPガス用，開放式）	炊飯釜をセットし点火したところ　炊飯器本体の内部より黒煙が上がった。	なし	なし	埼玉県		
B2G11- 159	2011/07/18	2012/04/12	ガス迅速継手(ゴム管用ソケット)（都市ガス用）	使用者がガスコンロに火をつけたところ、ガス栓付近から炎がでたので、濡れタオルと消火器を用いて消火した。原因は、ゴム管用ソケットとガス栓が不完全な接続状態であったため、漏えいした微量のガスにガスこんろの炎が引火したものと推定。	当該機器の一部焼損，拡大被害なし	なし	東京都		
B2G11- 158	2011/07/18	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，屋外式）	シャワー使用時に屋外で異音がして使用できなくなった。	電装部品の損傷	なし	埼玉県		

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 157	2011/07/12 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス使用の申し込みがあったお客様宅でふろがまが変形しているのを確認し、浴室を含む当該居室のガス配管の漏えい検査に異常のないことを確認した。原因は、前入居者様の使用時に点火操作を繰り返したことなどにより、機内に滞留したガスが異常着火を起こし機器ケーシングの一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 156	2011/07/12 知	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等に問題なかった。機内に冠水跡を確認した。原因は、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都		
B2G11- 155	2011/07/12	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	ガスこんろ使用中に音がして煙が出た。ガスこんろ内部の配線が一部焦げていた。	機器内部の一部毀損	無し	東京都		
B2G11- 154	2011/07/11	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	お客様が、当該機器使用の点火操作を繰り返していたところ、異常着火が起こり、機器フロントカバーが一部変形した。弊社の確認で、ガス・水回路に漏れはなく、口火点火、ﾒｲﾝﾊﾞｰﾅへの着火・火移り・燃焼炎に問題はなく、機内の部品・配線類に損傷等がないことを確認した。また機内に冠水跡を確認した。原因は、冠水で点火しにくい状態で点着火操作を繰り返したこと。または、口火点火後、つまみを誤って『消火』側へ回し、口火を消してしまい、その後『ﾒｲﾝ燃焼』側へ回したため、ガス電磁弁が閉まるまでの間ガスが放出され、口火が消えていることに気付き、再度点火操作をしたことで滞留したガスが異常着火したこと。などが推測された。	機器ケーシング一部変形	なし	静岡県		

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 153	2011/07/11	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	コンロバーナーが点火しないので何十回と点火操作していたところ、突然大きな火が出て腕を火傷した。汁受け皿の誤セット及び使用を禁止しているアルミ箔製の汁受け皿を使用が原因で正常に点火しなかった。	なし	なし	兵庫県		
B2G11- 152	2011/07/08	2012/04/12	ガス迅速継手(ガス栓用プラグ)(ゴム管用)(都市ガス用）	一口コンロに火をつけたときに、迅速継手のガス接続部から炎が出て、迅速継手の接続部が焦げているのを発見、ガス栓を閉めて消火させた。（詳細調査中）	器具の一部焼損	なし	大阪府		
B2G11- 151	2011/06/30	2012/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，屋外式）	ガス瞬間湯沸器に接続されたガス配管部よりガスが漏えい、滞留し、滞留したガスが発火した。	器具焼損	無し	香川県		
B2G11- 150	2011/06/24	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	BFふろ釜の点火操作を繰り返していたら「ボン」と音がして、点火確認窓から炎が見えた。 調査の結果、サンドブラストによるガスの供給障害により点火が正常にできず、点火操作を繰り返しているうちに機内に滞留したガスに引火して、機器上部にある断熱材の一部を焼損したものと推定。	製品一部破損	なし	京都府		
B2G11- 149	2011/06/20	2012/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	6月20日、老朽した配水管が破損しガス管に濁水が浸入、ガス供給不良が発生。ガス事業者は、その影響と思われる不具合機器は交換を実施していた。お客様より点火不良が発生との連絡で機器回収を実施。今月、回収機器調査を開始したところ、機器内の電装コードの一部に焼損を確認した。	機器内部の一部電装コード等の焼損	なし	京都府		
B2G11- 148	2011/06/15	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	使用者がグリルで鮭の切り身を焼いた後暫くするとグリル内が赤く燃えて煙が上がった、元栓を閉め暫くすると火が消えたとの申し出があった。調査の結果、機器に異常はなく、お手入れ不足で溜まった脂等がグリルの消し忘れにより発火したものと推定した。	無し	無し	福井県		

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
A2G11- 147	2011/06/10	2012/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，屋外式）	ガスふろがまが使用できなくなったので修理を依頼した。	器具の一部焼損	無し	茨城県		
B2G11- 146	2011/06/02	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	調理油過熱防止装置が付いていない側のこんろで揚げ物調理中、消し忘れて外出したために発火し、壁と換気扇を焼損した	壁、換気扇を焼損	無し	群馬県		
A2G11- 144	2011/03/15	2012/04/12	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	台所の流し台を焼損し、使用者が軽い火傷を負う火災が発生した。消防は、使用者の証言があいまいでこんろの使用状態も不明で、原因の特定には至らなかった。	流し台、器具焼損	まつ毛、眉毛を焼く軽い火傷	愛知県	11/4消費者庁から情報をもとに、11/4に事故を覚知	
B2G11- 143	2011/01/22	2012/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	ガスこんろが焼損した。消防は、使用者がグリルで魚を焼いていて消し忘れたこと、及びガスこんろの下に可燃物（段ボール）が敷かれていたことから、使用者の不注意が原因と判断した。	器具焼損	なし	大阪府	11/4消費者庁から情報をもとに、11/7に事故を覚知	
B2G11- 142	2011/07/08	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	シャワー使用中に火が消え水になった。再点火操作をしたところ大きな音がした。	外装の一部変形	なし	千葉県	―――	
B2G11- 141	2011/07/04	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	お客様が、当該機器使用の点火操作を繰り返していたところ、異常着火が起こり、機器フロントカバーが一部変形した。弊社の確認で、ガス・水回路に漏れはなく、口火点火、メインバーナへの着火・火移り・燃焼炎に問題はなく、機内の部品・配線類に損傷、焦げ等の異常がないことを確認した。また機内に冠水跡を確認した。原因は、冠水で点火しにくい状態で点着火操作を繰り返したこと。口火点火後、つまみを誤って『消火』側へ回し、口火を消してしまい、その後『メイン燃焼』側へ回したため、ガス電磁弁が閉まるまでの間ガスが放出され、口火が消えていることに気付き、再度点火操作をしたことで滞留したガスが異常着火したこと。などが推測された。	機器ケーシング一部変形	なし	静岡県	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 140	2011/07/01 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	新入居開栓作業で、ふろがまのケーシングが変形しているのを確認。弊社で確認の結果、機内ガス・水回路に漏れはなく、口火点火、メインバーナへの着火・火移り等に問題はなく、機内の部品及び配線類に損傷、焦げ等の異常がないことを確認した。原因は、『機内に冠水跡が確認されたことより、冠水の影響で点火しにくい状態であった可能性も含め』点着火操作を繰り返したことなどで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 139	2011/06/27	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	ｼｬﾜｰを浴びようと、ふろ釜の正面に右足を置いて点火操作を行った。種火点火操作後、本火をつけようと操作ツマミを回したところ異常着火し、外装の一部が変形した。使用者は右足くるぶしあたりに軽度の火傷を負った。	外装の一部変形	右足に軽度の火傷を負った	神奈川県	―――	
B2G11- 138	2011/06/26	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	口火点火操作を何度か繰り返し行ったところ、異常着火して外装の前面カバーの下部が外れた。	前面カバーの下部が外れた。	なし	東京都	―――	
B2G11- 137	2011/06/27	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	口火の着きが悪く何度か点火操作を繰り返し行ったところ、異常着火して機器の前面カバーの下部が外れた。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
A2G11- 136	2011/06/23	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器（元止式）（都市ガス用，開放式）	着火しなかった為 繰り返し点火操作を行ったところ異常着火した との事。	換気扇フィルターの焦げ	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 135	2011/06/22	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	口火点火操作を何度か繰り返し行ったところ、異常着火して外装の前面カバーの下部が外れたと伺った。	外装の一部変形	軽度の火傷	東京都	―――	
B2G11- 134	2011/06/20 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、今回の点検で、指摘されるまで気付かなかったとの事を伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災，軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 133	2011/06/11	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，CF式)	修理依頼のあったお客さま宅にて、ふろがま内部の配線が一部焦げているのを確認した。弊社の確認で、機器本体に変形等なく、機内ｶﾞｽ・水回路に漏れはなかったが、温度ﾋｭｰｽﾞ等の配線に焦げや断線があり運転できない状態であった。また、機器底部の部品が錆び、ﾒｲﾝﾊﾞｰﾅのｶﾞｽ吸入部に埃や錆びた部品の鉄片が確認されたため、冠水した可能性を推測した。原因は上記ｶﾞｽ吸入部に確認された埃や錆びた鉄片が、ﾉｽﾞﾙのｶﾞｽ噴出の妨げとなりｶﾞｽがﾉｽﾞﾙ周辺にあふれ、あふれたｶﾞｽが引火し異常燃焼したことで、上部の配線類を焦がしたものと推測した。	機内配線を焦がす。	なし	神奈川県	ーーー	
B2G11- 132	2011/06/11	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(LPガス用,	種火への点火を数回繰返した後、大きな音がして機器フロントカバー中央部が少し変形した。また入居当時から器具栓つまみが重く操作し難い状態で使用していた。種火が着きにくい状況で点火操作を繰り返し行ったため、機器内部にガスが溜まり異常着火し機器が変形したものと推測する。	機器フロントカバー変形	なし	神奈川県	ーーー	
B2G11- 131	2011/06/09 知	2011/07/21	ガスふろがま(都市ガス用，BF式)	開栓作業時に、点火確認窓に亀裂があり、冠水痕があることを確認した。一年ほど前からシャワーを使用すると大きな音がすること、点火確認窓はいつ亀裂が入ったか不明ということを伺った。調査の結果機器に変形や異常着火の痕跡はなく、窓ガラスの亀裂は機器の使用によるものではないと推定。	点火確認窓ガラス破損	なし	千葉県	ーーー	
B2G11- 130	2011/06/09	2011/07/21	ガス炊飯器(LPガス用)	タイマー炊飯をセット後、 翌朝 炊飯器本体の内部より黒煙が上がった。	なし	なし	山形県	ーーー	
B2G11- 129	2011/06/08	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器(先止式)(LPガス用，FE式)	高校の教室にて、先生が9時半頃、ガスの元栓と給湯器のガス栓を開き、授業終了時、12時40分まで使用したが異常なかった。後片付け後に、お湯を使用しようとしたときに、機器の燃焼ランプが点滅したため、再度入れ直したところ、正常に燃焼し、お湯を使用した。その後、10～20分後、ボンと大きな音がして吸気ロフィルターが飛んだ。	前パネル変形、吸気ロフィルター外れ	なし	高知県	ーーー	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2:「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
A2G11- 128	2011/06/08 知	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	ガス事業者の協力企業より、修理訪問したお客様宅にて給湯機が変形しているとの連絡を受け、ガス事業者が現場確認したところ、当該機器のケーシングが一部変形していることを確認した。	器具のケーシングが一部変形	なし	神奈川県	―――	
A2G11- 127	2011/06/07	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	浴室で大きな音がし、浴室入口折り戸のガラスが1枚破損した。お客様より、「口火を点けたまま浴室を出てしばらくして大きな音がした。」と伺った。弊社での確認において、外観や内部部品に損傷等はなく、ガス回路に漏れのないことを確認した。口火の点火性能やメインバーナへの着火、燃焼炎の状態に問題なく、機器は正常な運転が出来る状態であった。	折り戸ガラス1枚破損	なし	福島県	―――	
B2G11- 126	2011/06/05	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	家人が入浴中、操作ツマミを口火からシャワーに切り替えた際に、大きな音がしてケーシングの一部が変形した。	外装の一部変形	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 125	2011/06/03	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	お客さまよりガス事業者協力企業へふろ釜の変形があると連絡を受け、ガス事業者で確認したところ、前板に隙間があることを確認した。調査の結果、機器には変形等の異常はなく、点火、火移り性能も問題はなく、回収された機器の前板は隙間もなかったことから、原因は特定できな	なし	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 124	2011/05/31 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	修理依頼のお客様宅で風呂釜が変形しているのを確認した。弊社での確認で、機内のガス・水回路に漏れはなく、点火性能や燃焼状態に問題はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 123	2011/05/30 知	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	機器使用中、停電し当該機器から火が見えたため、お客様が消火器で消した。お客様より「今までに何度かお湯が出ないことがあった」と伺った。弊社での確認の結果、熱交換器の状態により、空焚きがあったと推測した。原因は、流水スイッチ内に、鉄錆などの付着物があったことや、長期使用で給水配管内に錆・スケール等があったことなどにより、流水スイッチのフラッパーの閉動作が一時的に遅れ、残火状態になり、機内配線を焦がしたと推測した。停電は、熱交換器に巻いた凍結予防ヒーターのシリコン被覆が焼失したことによる漏電と推測した。	機内焼損	なし	東京都	―――	
B2G11- 122	2011/05/30 知	2012/04/09	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	修理で伺ったお客さま宅でふろがま機内配線の一部が焦げているのを確認した。お客様から、日頃から浴室の排水が悪いことを伺った。確認の結果、ガス・水回路に漏れはなかった。浴室の排水確認を行ったところ、機器が冠水するのを確認した。原因は、機器が冠水した状態で使用したため、メインバーナへのガスの噴出が妨げられ、メインノズルから機器手前にあふれた未燃ガスに、口火が引火し配線類を焦がしたものと推測した。	機器内部の配線の一部が焦げる	なし	東京都	―――	
B2G11- 121	2011/05/29	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，開放式）	・給湯栓を「開」にしたとき、湯沸器で点火遅れが生じて異常着火が発生し、湯沸器の排気口から一瞬炎が出たと推測します。この炎の熱で、湯沸器の上部にあった換気扇のフィルターの一部が焦げたものと推測します。（詳細確認中）	機器の被害なし、拡大被害あり	なし	大阪府	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 120	2011/05/27	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，CF式）	お客様が、火操作を繰り返した際、爆発が起こり、手足に軽度の火傷を負い、浴室の天井の一部が衝撃で変形した。弊社での確認で、機器に変形はなく、ガス・水回路に漏れはなかった。機器底部の部品の腐食や、熱交換器の煤詰まりや、口火・メインバーナに煤の付着を確認した。原因は、機器底部まで水が浸かり燃焼が悪化し、経年的に熱交換器に詰まった煤が剥がれ落ちメインバーナ炎口を塞いだことにより、火移りができず、メインバーナ炎口から未燃ガスが放出され浴室内に滞留し、再点火操作を繰り返していた時に異常着火したものと推測した。	浴室の天井の一部が変形	手足に軽度の火傷	東京都	―――	
B2G11- 119	2011/05/27 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認した。お客様より、いつ変形したのかは分からないことを伺った。弊社での確認で、機内のガス回路に漏れはなく、点火性能や燃焼状態にも問題はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 118	2011/05/27 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなく、点火性能、燃焼状態等も問題なかった。原因は、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
XXG11- 117	2011/05/27	2011/07/21	ガスふろがま（LPガス用，BF式）	点火しないとのお申し出があり、お伺いして確認したところ、ガスコック上部の樹脂製部品が溶融して固着していた。ガスコック組立て措置の不備により、Oリングが正規の位置に挿入されず、使用中にOリングが傾き、漏れたガスに引火したことによるもの推定される。	機器一部破損	なし	埼玉県	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11-　408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11-　407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11-　116	2011/05/26	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	口火点火操作を行い点火メーターが動いてくるのを確認、その後シャワーを使用したがお湯にならなかったので、しばらく放置した。再度口火点火を行ったが点火しがたく、繰り返し操作したところ、異常着火して外装の一部が変形した。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11-　115	2011/05/25 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認した。弊社での確認で、機内のガス・水回路に漏れはなく、点火性能や燃焼状態に問題はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11-　114	2011/05/24 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、いつ変形したかは不明と伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11-　113	2011/05/24	2011/07/21	ガス給湯暖房機（都市ガス用，屋外式）	ガス事業者が定期保安点検時に機器外装部の変形を確認。外壁塗装工事のため排気口がビニールシートで覆われていた状態で機器を使用したため異常着火が発生したため外装が変形したと推定。	機器外装部品の変形	なし	大阪府	―――	
XXG11-　112	2011/05/22	2011/07/21	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	機器内部のハーネス、端子台、前板等が一部焼損した。機器内部の給湯回路の水が漏れており、下方に位置するガス通路部が腐食し、穴が開いていた。原因調査中。	機器一部焼損	なし	東京都	―――	
B2G11-　111	2011/05/19 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器を確認した結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能、燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式）(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 110	2011/05/18 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式）	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認した。お客様より、いつ変形したのかは分からないことを伺った。弊社での確認で、ガス・水回路に漏れはなく、燃焼は正常でした。また、ふろ側メインバーナ内に“虫の死骸”があました。お客様より、『ふろ側の火移りが悪かった。』ことを伺っており、原因は“虫の死骸”の影響も含め、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
A2G11- 109	2011/05/16 知	2012/04/09	ガスふろがま(都市ガス用，BF式)	BF風呂釜内部の配線が一部溶解しているとの連絡を受け、現場確認したところ、当該機器内部の温度ヒューズ配線が一部溶断していることを確認した。製造工程の取扱いで給湯熱交換器の下部が変形したことで異常加熱されて穴が開き、温度ヒューズが作動したものと推定。製造工程の改善をした。	機器内部一部破損	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 108	2011/05/12	2011/07/21	ガスこんろ(都市ガス用，組込型）	ビルトインこんろを清掃後、点火操作をおこなったところ、異常着火がおこり、こんろ上部の換気扇フィルターの一部を焼損し、使用者が指に軽い火傷を負った。(詳細原因調査中)	換気扇フィルターの一部	火傷(軽症)	兵庫県	―――	
B2G11- 107	2011/05/11	2011/07/21	ガスこんろ(都市ガス用，卓上型）	こんろ使用中、少しの間目を離したスキに炎が上がっており、水をかけて消した。	コンロとソフトコード及びコンロ台一部焼損	軽度の火傷	神奈川県	―――	
B2G11- 106	2011/05/10 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	ガス使用の申し込みがあったお客様宅でふろがまが変形しているのを確認した。弊社での確認で、機内のガス・水回路に漏れはなく、点火性能や燃焼状態に問題はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2:「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 105	2011/05/09 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認した。お客様より、いつ変形したのかは分からないことを伺った。弊社での確認で、機内のガス・水回路に漏れはなく、点火性能や燃焼状態にも問題はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
XXG11- 104	2011/05/09 頃	2011/07/21	ガスふろがま（LPガス用，BF式）	点火しないとのお申し出があり、お伺いして確認したところ、ガスコック上部の樹脂製部品が溶融して固着していた。ガスコック組立て措置の不備により、Oリングが正規の位置に挿入されず、使用中にOリングが傾き、漏れたガスに引火したことによるもの推定される。	機器一部破損	なし	埼玉県	―――	
B2G11- 103	2011/05/09	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	外壁部補修工事で排気筒トップに防火ダンパーを取り付けた。排気閉塞した為に異常着火を起こし前面カバーが変形した。（B2G1100102とB2G1100103は同一マンションで同じ日に起きた事故）	前面カバーの変形	なし	埼玉県	―――	
B2G11- 102	2011/05/09	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	外壁部補修工事で排気筒トップに防火ダンパーを取り付けた。排気が上手く行かず、異常着火を起こし前面カバーが変形した。（B2G1100102とB2G1100103は同一マンションで同じ日に起きた事故）	前面カバーの変形	なし	埼玉県	―――	
B1G11- 101	2011/05/08	2011/07/21	ガスこんろ（ガス種不明，組込型）	調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろバーナーで天ぷら調理を行い、その後消し忘れたために火災に至った。詳細調査中。	機器周辺の壁を焼損	なし	福岡県	―――	
B2G11- 100	2011/04/30	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器（元止式）（都市ガス用，開放式）	・ガス湯沸器が異常着火し、湯沸器の排気フードの一部が変形した。（詳細調査中）	拡大被害なし	なし	兵庫県	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 099	2011/04/29	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	浴室で多量のスプレー缶のガスを抜いた後で、点火操作をしたら異常着火して機器が変形した。調査の結果、機器には異常はなく、浴室に滞留していたスプレー缶の可燃性ガスに、点火の火花が引火したものと推定。	機器一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 098	2011/04/28	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	種火の点火操作を行いシャワーを出したがお湯にならなかった。再度、種火点火操作を行った時に異常着火した。	ケーシングの変形	脚の裏を切ったが軽傷だったので自宅治療した。	広島県	―――	
B2G11- 097	2011/04/27	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，CF式）	修理依頼のお宅でふろがま内部の一部が焦げているのを確認した。また、機器内に冠水した跡を確認した。弊社での確認で、のガス回路・水回路に漏れはなく、焦げた配線を修復し、機器が正常に動作することを確認した。また、ケーシング・フロントカバーに冠水跡、メインバーナのガス吸入部や、メインノズル・パイロットノズルに水が付着した痕跡を確認した。浴室内の排水状態が悪かったことや、お客さまに伺った状況より、「機器が冠水した状態で使用したため、メインバーナへのガスの噴出が妨げられ、機器手前側にあふれたガスが口火の炎により着火し、機器内の配線を焦がした」と推測した。	機器内部の一部が焦げる。	なし	東京都	―――	
B1G11- 096	2011/04/28	2011/07/21	ガス給湯暖房機（LPガス用，屋外式）	・給湯器を使用したところ、爆発音がして、給湯器前面のカバーが吹き飛ぶ事故が発生しました。・外壁塗装工事のため排気口がビニールシートで覆われていた状態で機器を使用したため、発生したものと推定。	外装部品の変形	なし	兵庫県	―――	
B2G11- 095	2011/04/25	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	点火操作を繰り返し行ったところ、大きな音がして外装の一部が変形した。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災, 軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し, 1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は, 台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には, 近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを, 石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために, 漏れたガスに石油ストーブの火が引火し, 火災に至ったものと推定される。なお, ボンベにガスが残っている場合の処理について, 本体表示には, 「お湯を沸かすなどして使い切る。又は, 風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨, 記載されている。	
B2G11- 094	2011/04/23	2011/07/21	ガスふろがま(都市ガス用, CF式)	修理依頼のお宅でふろがま内部の一部が焦げているのを確認した。お客様から「点火操作で異常音がし、機器から煙が出て使用できなくなった。」と伺った。弊社での確認の結果、機内過熱防止装置(温度ヒューズ)が作動し、機器の運転ができない状態であった。また、メインバーナの炎口に埃が詰まっていることを確認した。原因は『メインバーナ炎口に詰まった埃により、ガスが炎口から噴出しきれず機器手前にあふれ、温度ヒューズの作動によりガス回路が遮断され消火した。』ものと推測した。	機器内部の一部が焦げる。	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 093	2011/04/22	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	風呂の点火操作時に「ボン」と音がし、ケーシングの一部がした。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 092	2011/04/21 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形していることを確認した。機器確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能、燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 091	2011/04/21	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	養生シートで排気部を閉塞していた状態で給湯使用した為、異常着火した。	器具の前面カバーの変形	無し	兵庫県	―――	
B2G11- 090	2011/04/18	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器(先止式)(都市ガス用, 屋外式)	給湯器を使用した際にガス臭がし、異音と共に給湯器の前面カバーの一部が変形した。	器具前面カバーの変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 089	2011/04/14 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	定期保安点検で、ふろがまケーシングの一部が変形していることを確認した。機器確認の結果、ガス・水漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能、燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	埼玉県	―――	
B2G11- 088	2011/04/13	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器(先止式)(都市ガス用, 屋外式)	浴槽への給湯中に前面カバーが赤くなっているの気付いた。	器具焼損	なし	東京都	―――	
B2G11- 087	2011/04/11	2011/07/21	ガスこんろ(LPガス用, 組込型)	左側バーナーを使用し調理中、右袖に着火したが、すぐ衣服を脱いだ為、火傷には至らなかった。	衣服の焦げ	なし	東京都	―――	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2:「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
A2G11- 086	2011/04/11	2011/07/21	ガスこんろ（LPガス用，卓上型）	右こんろで調理中、購入依頼初めてグリルを使用したところ点火しなかったので、点火操作を3回繰り返した。3回目の操作直後にグリル扉を開けたところ炎が溢れ顔に軽度のやけどを負った。	無し	無し	石川県	―――	
B2G11- 085	2011/04/09 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で、当該機器ケーシングの一部が変形しているのを確認した。機器確認の結果、ガス・水漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能、燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 084	2011/04/07 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、いつ変形したかは不明と伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 083	2011/04/05	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	お湯張り操作したが点火しなかった為、ガスツマミを元に戻し、5分ほど置いてから再点火操作をしたところ異常着火して器具が変形した。	ケーシングの変形	なし	富山県	―――	
B1G11- 082	2011/04/04 知	2011/07/21	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	ガスこんろを子供が使用し、不注意で機器の焼損に至った火災が発生しました。詳細は、調査中です。	機器焼損	なし	大阪府	―――	
B2G11- 081	2011/04/04	2011/07/21	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	レンジパネルをコンロの後左右三方に立てて、コンロとグリルを　同時に調理していたところ、気分が悪くなり頭痛がしてきた、との事。2～3時間後に病院を受診したが、一酸化炭素中毒症状では無かった。	なし	なし	東京都	―――	
B2G11- 080	2011/04/02 知	2011/07/21	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認。ガス回路に漏れはなく点火性能等に問題のないことを確認した。弊社での確認でも、機内ガス回路・水回路に漏れはなく、点火性能や燃焼状態にも異常はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどにより機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
A2G11- 079	2011/03/31	2011/07/21	ガスふろがま（都市ガス用，屋外式）	2011年3月31日 20時00分頃、ユーザー様がリモコンに電源が入らず使用できないことに気付き、修理依頼した。翌日訪問したガス会社の協力会社が機器内部の焼損を確認した為、ガス会社が出動して機器の使用を禁止した。	器具焼損	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 078	2011/03/30	2011/07/21	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	オートグリル機能で塩さばを調理中、グリル排気口より煙が発生し、炎が15～20センチ上がった。グリル受け皿に溜まった油脂や食材にグリルバーナーの炎が引火して、発火に至ったものと推定。詳細調査中。	なし	なし	兵庫県	―――	
B2G11- 077	2011/03/30	2011/07/21	ガス迅速継手（ゴム管用ソケット）（都市ガス用）	使用者が調理中にガスこんろに接続しているソフトコードに火がついたため、ガス栓を止めて消火した。原因は、ゴム管用ソケットとガス栓が不完全な接続状態であったため、漏えいした微量のガスにガスこんろの炎が引火したものと推定します。	機器焼損。拡大被害なし	なし	東京都	―――	
B1G11- 076	2011/03/25	2011/07/21	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	・調理油過熱防止装置がついていないバーナーで天ぷら調理中、バーナーの火を消し忘れてしまい火災事故に至った。 ・消火作業時に油の入った鍋をひっくり返し、脚に軽度の火傷を負った。	こんろ周辺の汚濁	軽度の火傷	千葉県	―――	
B2G11- 075	2011/03/20	2011/07/21	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	味噌汁を温める為、コンロを点火したつもりで、誤ってグリルを点火し、その場を離れた。その後、味噌汁の様子を見に行ったところ、グリル付近から出火しており使用者が消火。	台所の壁及びゴム管一部焼損	なし	新潟県	―――	
A2G11- 074	2011/03/18	2011/07/21	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，屋外式）	当該湯沸器を使用中に異臭と異音に気付き、湯沸器を確認すると湯沸器の後面と壁面より煙が出ていたので水を掛けて消火させた。事故原因は過去の修理作業のミスの可能性があり詳細確認中。	あり	なし	静岡県	―――	
B2G11- 073	2011/02/17 知	2011/04/12	ガス給湯暖房機（都市ガス用，屋外式）	ガス事業者の給湯暖房機の点検に巡回した建物内の一室に設置している屋外式給湯暖房機の前面カバーの一部が変形しているのを確認した。	器具前面カバーの変形	なし	千葉県	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 072	2011/03/21	2011/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	・土鍋で調理中、汁受けの下から火が出た、との事。 ・原因は手入れ不足で、バーナー炎口が詰まったまま使用していた事によるもの	なし	なし	東京都	―――	
B2G11- 071	2011/04/01 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者の協力企業がガス開栓業務に伺った際にBF式給湯付き風呂釜のケーシングの一部が変形をしているのを確認した。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 070	2011/03/09	2011/04/12	ガス迅速継手（ゴム管用ソケット）（都市ガス用）	消費者が一口ガスこんろ付近でガス臭を感じたため、ゴム管と迅速継手を点火棒であぶった（この時に迅速継手に引火していたかは不明）その後、迅速継手がこげていると連絡があった。事故品の焼損が激しく調査できず。	迅速継手の焼損	なし	兵庫県	―――	
A2G11- 069	2011/03/04	2011/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	・ガスこんろを使用したところ器具内部で炎が出て、点火ツマミと機器内部の配線の一部が焼損した。詳細調査中	機器の一部焼損	なし	東京都	―――	
B2G11- 068	2011/03/22	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，CF式）	機内の配線が焦げているのを確認した。浴室の排水状態が悪いことや機内に冠水跡が確認された。原因は、『排水口詰まりにより機内が冠水した状態で、点火操作を繰り返したため、機内に滞留したガスが異常着火し配線類を焦がした』と推定した。	機内配線の一部焦げ	なし	東京都	―――	
B2G11- 067	2011/03/28	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	某社宅の入居者入れ替わりに際しガス設備の点検の依頼を受けた。点検に伺った際、BF式ガス給湯付きふろがまのケーシングの一部に変形を確認した。	外装の一部変形	なし	愛知県	―――	
B2G11- 066	2011/03/29	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（都市ガス用，屋外式）	マイコンメーターが遮断した為、点検依頼を受けた。点検時、当該機器のフロントカバー変形を確認した。	前面フロントカバーの変形	なし	大阪市	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 065	2011/03/12	2011/04/12	ガス炊飯器（都市ガス用，開放式）	炊飯器と接続する迅速継手辺りカウンターキッチン表面に焦げが確認された。当該機器の引取り調査を行なったが、ガス漏れ等の異常も無く、接続する迅速継手に何らかの原因でガス漏れが発生し、使用中の炊飯器から引火した事で、カウンターキッチンの一部が焦げたものと推測される。	カウンターキッチンの焦げ	なし	大阪府	―――	
A2G11- 064	2011/03/17	2011/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，屋外式）	2011年3月17日11時00分頃、ユーザー様が風呂追炊きの際、出火に気付き閉栓消火した。同日ガス会社とその協力会社が訪問した所、機器内部の焼損を確認した為、機器の使用を禁止した。	器具焼損	なし	千葉県	―――	
XXG11- 063	2011/03/23	2011/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	追い焚き操作後2、3分程経過した際にゴムが焦げたような臭気を感じたため、当該機器に水をかけた.。調査の結果，ふろ熱交換器が経年劣化により亀裂が生じたことで漏水しており、追い焚き中に機器内部に水がたまり、炎が熱交換器から溢れて空焚き防止装置が焼損し、機体過熱防止装置が作動してガスが遮断され、空焚き防止装置の焼損も止まったものと推定。	内部一部損傷	なし	神奈川県	―――	
B1G11- 062	2011/02/03	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（業務用）（都市ガス用，CF式）	水を流しながら点火操作をし、『開』ボタンを操作したことで一気に点火があったもの。機器内部に多量に堆積した綿埃に引火し、ダクトに炎が届いたもの。	排気ダクト	無し	東京都	―――	
B2G11- 061	2011/03/19	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	「使用の際、音がしてガス臭い」との通報を受け、風呂釜が変形しているのを確認。ガス回路に漏れはないことを確認した。調査の結果，結露水などの影響により、点火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11-　408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11-　407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11-　060	2011/02/22 知	2011/04/12	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者の定期保安点検時にケーシングの一部が変形しているのが分かった。お客さまはいつ変形したかは不明とのこと。機器が回収された時点で調査予定。点火操作を長時間継続したか、湯を流したまま器具栓つまみを止の位置まで戻して、すぐに器具栓つまみを給湯の位置にして点火操作をしたため、滞留したガスに着火した衝撃で側板が変形したものと推定。	機器一部破損	なし	東京都	―――	
B2G11-　059	2011/01/05	2011/04/12	ガスロードヒーティング用熱源機（LPガス用，屋外式）	排気口から30cmくらい火が出ていた。原因は，腐食により熱交換器に穴が開き、不凍液が漏れたことで不完全燃焼が促進され、熱交換器に煤が付着したことで、空気量が不足して未燃焼ガスが排気口の外で燃えたものと推定。	なし	なし	北海道	―――	
B2G11-　058	2011/03/17	2011/04/12	二口ホースガス栓（都市ガス用）	「ガスこんろ（卓上型）の点火操作をしたところ、ガス栓付近から火が出たので消火した」との通報があり，ガス栓つまみとゴム管の一部焼損を確認した。聞き取り調査の結果、原因は、ガスこんろが着火しなかったため、ガス栓の開閉および点火操作を繰り返し，機器と接続していない未使用側のガス栓も開放し、それに気づかず点火操作を行ったため引火したものと思われる。	ガス栓つまみとゴム管の一部を焼損した。	なし	北海道	―――	
B2G11-　057	2011/01/07	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，BF	ガス能力切換軸からの微量ガス洩れ	器具一部毀損	無し	東京都	―――	
B2G11-　056	2011/03/17	2011/04/12	ガス給湯暖房機（都市ガス用，屋外式）	修理依頼で伺ったお客様宅で、ガス給湯暖房機のフロントカバーの変形を確認した。	器具前面フロントカバーの変形	なし	東京都	―――	
B2G11-　055	2011/01/12	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（LPガス用，屋外	排気口から火が出て軒を焦がした	軒を焦がした	無し	静岡県	―――	
XXG11-　054	2011/01/05 知	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（元止式）（都市ガス用，開放式）	微量ガス漏れ	器具毀損	無し	東京都	―――	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡１名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 053	2011/03/15	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，FE式）	異常音がして給湯器が変形との連絡でケーシング一部の変形を確認。お客さまより、隙間風を無くすため排気口をガムテープで塞いだ時、使用した際発生したことを伺った。確認した結果、機内の異常はなくガス漏れ水漏れはなく、ガムテープを取り外して、点着火性能や燃焼状態も問題ないことを確認した。原因は、給排気トップの排気口部をガムテープで塞いでしまったことで排気閉塞状態となり、点火不良となり、再点火時に滞留したガスに引火して異常着火を起こし、機器の一部が変形したものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 052	2011/03/04 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	風呂リモコンの画面が表示しないとの修理依頼で、ガス事業者が訪問した時に、当該機器のフロントカバーの変形を確認した。	器具前面フロントカバーの変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 051	2011/03/07 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、いつ変形したかは不明と伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 050	2011/03/03 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、いつ変形したかは不明と伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 049	2011/03/03	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	機器修理のお申し出があったお客様宅にてケーシングの一部に変形を確認した。お客様への問診の結果、口火点火操作を何度か行ったところ、大きな音がして、機器が変形したと伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 048	2011/02/21 知	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，FE式）	ガス機器取替の見積訪問時に機器の前面カバーの変形に気付いた	機器の前面カバーの変形	無	東京都	―――	
B2G11- 047	2011/02/21 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 046	2011/02/17	2011/04/12	ガス給湯暖房機（都市ガス用，屋外式）	外壁工事で排気トップを閉塞中に給湯を使用したらドンと音がして前面ｶﾊﾞｰが変形した	器具前面カバーの変形	なし	岐阜県	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災，軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 045	2011/02/15	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，屋外式)	お湯を使用したところ大きな音がして器具の外装が一部変形した。	器具のケーシング及び前面カバーの変形	無し	千葉県	―――	
B2G11- 044	2011/02/14	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，屋外式)	お湯を使用したところ大きな音がして器具の外装が一部変形した。	器具の前面カバーの変形	無し	大阪府	―――	
B2G11- 043	2011/02/11	2011/04/12	ガス給湯暖房機(都市ガス用，屋外式)	お湯を使用したところ大きな音がして器具の外装が一部変形した。	器具のケーシング及び前面カバーの変形	無し	大阪府	―――	
B2G11- 042	2011/02/07 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	ガス事業者が定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、いつ変形したかは不明と伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 041	2011/03/01 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	新入居開栓作業で、ふろがまのケーシングが変形しているのを確認。ガス回路に漏れはなく点火性能等に問題のないことを確認した。また、浴室の排水状況は、排水口詰まりの状態であり、機器内に冠水跡を確認した。弊社での確認において、機内の各部品や配線類に変形、損傷等の異常はなく正常に運転出来た。原因は、『浴室の排水口詰まりにより機器内部が冠水し、ふろ口火バーナが水に浸かり点火しにくい状態の時に、口火点火操作を繰り返したため、機内に滞留したガスに異常着火し機器ケーシングの一部が変形した』ものと推測。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 040	2011/03/11 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認した。弊社での当該機器確認で、機内のガス回路や水回路に漏れはなく、点火性能及び燃焼状態も異常はなかった。原因は、『点着火操作を繰り返したことなどで機器内部に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作により異常着火した』ものと推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 039	2011/03/03 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	定期保安点検で風呂釜が変形しているのを確認。ガス回路に漏れはなく点火性能等に問題のないことを確認した。原因調査中	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県	―――	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2:「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡1名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2％以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 038	2011/01/04	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	機器使用中、過圧逃し弁ツマミが焦げた。現場にて当該機器に冠水跡を確認した。原因は、浴室の排水口詰まりにより機器が冠水した状態で使用したため、ガスがバーナへ正常に噴出されず異常燃焼しツマミを焦がしたと推測。	過圧逃し弁ツマミが焦げる	なし	東京都	―――	
B2G11- 037	2011/02/21 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	定期保安点検の際、当該機器のケーシングが一部変形していることを確認した。機器確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能.燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 036	2011/02/08	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，開放式）	・排気口上部にあった換気扇フィルターの一部焦げた。 ・給湯栓を「開」にしたとき、湯沸器で点火遅れが生じて異常着火が発生し、湯沸器の排気口から一瞬炎が出たと推測します。この炎の熱で、換気扇フィルターの一部が焦げた。	機器の被害なし、拡大被害あり	なし	大阪府	―――	
B2G11- 035	2011/01/24	2011/04/12	カセットこんろ	カセットこんろをダンボールで覆って燻製を行っていたところ、装着していたボンベが爆発し、周辺を焼損した。原因は、こんろを覆っていたダンボールに火がつき、圧力感知安全装置が作動して停止していたこんろを加熱し続けたため、ボンベ内の圧力が上昇し、爆発したものと思われる。	ベランダの網戸と整理ダンス、ベランダに敷いているマットの一部が焼損した。	なし	東京都	―――	
B2G11- 034	2011/02/19	2011/04/12	ガスこんろ（都市ガス用，卓上型）	コンロを使用する際、着火しなかった為、点火操作を数回行ったところ、異常着火が発生し、需要家が火傷を負った。不着火原因は、汁受用に敷いてあったアルミマット（取扱説明書に使用禁止案内あり）にスパークがリークし、着火しなかったものと推測される。	なし	火傷（軽症）	滋賀県	―――	
A2G11- 033	2011/02/12	2011/04/12	ガスこんろ（LPガス用，組込型）	左前・左後バーナを同時使用時、左後バーナの火力を強める操作をしたところ、左前器具栓ツマミ付近より火が出た。事故品を調査した結果、リコール箇所からのガスもれであった。	器具一部焼損	なし	千葉県	―――	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	（CO中毒、死亡１名）1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 032	2011/02/08	2011/04/12	ガス炊飯器（都市ガス用，開放式）	点火後1分程で異臭に気づき外蓋を開けたところ炎が見えた、との事。事故品の下枠部汁受け及びその下の遮熱板に可燃物の燃えかすが残っていたが、事故品の樹脂構成部品に欠損は無く、下枠のバーナ付近に何らかの可燃性の異物がある状態で、それに気付かずに点火した事で、その可燃物が燃え、延焼したものと考えられる。	フローリング熱変形、及び屋内すす付着。	なし	大阪府	―――	
B2G11- 031	2011/02/02	2011/04/12	ガス迅速継手（ゴム管用ソケット）（都市ガス用）	台所の清掃を行った際、ゴム管用ソケット接続部が外れかけたため、差込み直しを行ったがこの時に異物が侵入し接続シール部に噛み込んだため、ガスが微少漏洩しコンロバーナーの炎から引火したと推定します。	迅速継手の一部焼損	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 030	2011/02/22	2011/04/12	ガス栓（都市ガス用）（検査口付機器接続型）	使用者から依頼を受け、点検した結果、ビルトインコンロ下のキャビネット内壁の一部が焦げているのを確認した。原因は、ガス栓の検査口のプラグ（ネジ式）が外され（原因不明）、キャビネットの扉開閉時にガス栓のつまみに鍋の蓋が当たり、検査口が開となり、ガスが漏れ引火したためと思われる。	キャビネット内壁の一部が焦げた	なし	兵庫県	―――	
B1G11- 029	2011/02/19	2011/04/12	カセットボンベ	1)オーブンレンジを使用中に、上に置いてあったカートリッジガスこんろ・ボンベが爆発した。2)千住消防署様の見解は、カートリッジガスボンベに起因する事故では無く、外部からの熱源（オーブンレンジ）により、ボンベが爆発したとの事でした。	有	有	東京都	―――	
B2G11- 028	2011/01/26 知	2011/04/12	ガス迅速継手（器具用ソケット）（都市ガス用）	使用者が、クッキングテーブルを使用した際、ガス接続口から火が出た。原因は、ガス迅速継手を長期間使用していない間、キャップをしていなかったため、繊維状の異物が侵入し、隙間が生じてガスが漏えいしたと推定。	機器焼損。拡大被害あり	なし	大阪府	―――	
B2G11- 027	2011/01/21	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	点火操作時に、点火しずらい状況で点火確認窓を確認せず、繰り返し点火操作を行ったところ、異常着火して外装の一部が変形した。	外装の一部変形	なし	神奈川県	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B2G11- 026	2011/01/21 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者の定期保安点検に伺った際にケーシングの一部に変形を確認した。お客様に問診したが、いつ変形したかは不明と伺った。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 025	2011/01/25 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	ガス事業者の定期保安点検に伺ったお客様宅のガス給湯付ふろ釜の前面フロントカバーが変形していることを確認した。	器具前面カバーの変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 024	2011/01/25 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，屋外式）	ガス事業者の定期保安点検に伺ったお客様宅の給湯付ふろ釜の前面フロントカバーが変形していることを確認した。	器具前面カバーの変形	なし	東京都	―――	
A2G11- 023	2011/02/15	2011/04/12	ガス給湯暖房機（都市ガス用，屋外式）	子供がふろで火傷をしてひざ下が赤くなった、との申し出があり、機器を確認したら、ふろポンプが常時回転しており、床暖房を使用していたことが判明した。2011年2月3日に社告を出した事象と同様と思われるが、制御基板を回収して詳細調査予定。	なし	あり（火傷、医療機関の受診なし）	東京都	―――	
XXG11- 022	2011/01/05 知	2011/04/12	カセットこんろ	他社製ボンベ使用によるガス漏れ。（同日・同地域で起きた2件目）	なし	なし	大阪府	―――	
XXG11- 021	2011/01/05 知	2011/04/12	カセットこんろ	他社製ボンベ使用によるガス漏れ。（同日・同地域で起きた1件目）	なし	なし	大阪府	―――	
B2G11- 020	2011/02/09	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	浴室の排水口が詰まり、機器が冠水した状態で点火操作をした時に大きな音がして機器ケーシングが一部変形した。排水状況を確認した結果、排水口に髪の毛等が詰まり排水が極端に遅かった。また、機器内に冠水跡を確認した。機器を調査した結果、ガス・水回路に漏れはなく、異常は確認されなかった。冠水跡が確認された為、原因は浴室の排水口詰まりにより機器が冠水した状態で使用したためと推測する。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県	―――	
B2G11- 019	2011/01/19	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	シャワーを使用したところ、機器から音がして火が出るのを見た。また機器ケーシングの一部が変形した。機器確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に焼損はなかった。点火性能,燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11- 018	2011/02/01	2011/04/12	ガスストーブ（都市ガス用，開放式）	・当該品使用の男性（95歳）が、着衣着火で病院に搬送された。 ・当該品の漏れ検査及び燃焼状態等確認をしたが、問題はなく、使用者（厚着されていたとの事）の不注意で着衣着火となり「製品が起因した事故ではない」との見解を頂いた。	なし	あり	東京都	―――	
B2G11- 017	2011/01/16	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	風呂釜を追焚きした後、一旦操作ツマミを口火位置に戻した。30分程後に、操作ツマミを0の位置に戻し、口火操作を行なったところ異常着火し器具が変形した。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
B2G11- 016	2011/01/02	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	点火しにくかったため、追焚きをしようと点火操作を繰り返し行なった時に大きな音がして器具が変形した。	外装の一部変形	なし	東京都	―――	
A2G11- 015	2011/01/06	2011/04/12	ガス瞬間湯沸器（先止式）（都市ガス用，屋外式）	給湯器から大きな音がして、排気トップが外れ変形した、との事。	なし	なし	愛知県	―――	
B1G11- 014	2011/01/31	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	機器使用中、機内配線の一部が焦げた。現場にて当該機器に冠水跡を確認した。現在、詳細調査中。	配線の一部焼損	なし	東京都	―――	
B1G11- 013	2011/01/27	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	追いだき運転後、シャワーを使う為、点火操作をしたところ、大きな音がしてケーシングの一部が変形した。機器確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。点火性能,燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県	―――	
B1G11- 012	2011/01/12	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	機器使用中、機内配線の一部が焦げた。原因は、浴槽水を抜き機器が冠水した状態で機器を使用したため、ノズルからメインバーナへのガス噴出が妨げられ、あふれたガスが口火に引火したものと推測した。	配線の一部焼損	なし	東京都	―――	

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故

B1G11-　408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ(開放式)(都市ガス用)	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種(6Aと13A)にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11-　407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	(火災，軽傷1名)当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
B1G11-　011	2011/01/06	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	追いだき使用後、給湯を使用する際の点火操作中に大きな音がして機器のケーシングが一部変形した。機器確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能,燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	東京都	―――	
B1G11-　010	2011/01/06 知	2011/04/12	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，BF式)	定期保安点検の際、当該機器のケーシングが一部変形していることを確認した。機器確認の結果、ガス漏れはなく、部品や配線類に損傷はなかった。また、点火性能,燃焼状態等も問題なかったことより、点火操作時の不注意による異常着火と推測した。	機器ケーシング一部変形	なし	神奈川県	―――	
B1G11-　009	2011/01/15	2011/02/08	ガスこんろ(都市ガス用，組込型)	センサー無し側を使用され、使用後火を止めたが、その後、隣の部屋でウトウトしていると、火が消えておらず、天ぷら鍋より油が発火し、炎が見えた為、消火器で消火した。	壁・天井併せて約0.9㎡焼損。	なし	滋賀県	―――	
A2G11-　008	2011/01/26	2011/02/08	ガスふろバーナ(都市ガス用，CF式)	2011年1月26日10時44分頃、ユーザー様が機器が焦げている事に気付き、ガス会社に連絡が入った。同日訪問した所、機器の焼損を確認した為、元栓を閉栓し機器の使用を禁止した。	器具焼損	なし	兵庫県	―――	
B1G11-　007	2011/01/23	2011/02/08	ガスストーブ(都市ガス用，開放式)	ストーブ使用時、ガス接続部から炎が出て、箪笥と箪笥の上に置いてあった小物、及び壁面を焼損した。お客様は専用のガスコードで接続しなければならないところ、普通のガス管(青ゴム管)を使用されていた。	壁、箪笥等を焼損	なし	東京都	―――	
XXG11-　006	2011/01/23	2011/02/08	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用，FF式)	お湯が出ず、使用時に焦げ臭いとのお申し出があり、確認したところ基板に変色があった。調査の結果，基板の変色は経年使用に伴う一般的なもので、作動にも異常はなく原因不明でした。一時的な風の影響による点火不良や立ち消え、室内の埃の燃焼部等への付着による臭いが想定されます。	機器の一部破損	なし	東京都	―――	

※1　A2：重大製品事故以外の製品事故
※2　B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3　B2：「B1」以外の事故

B1G11- 408	2011/12/06	2014/06/03	ガスストーブ（開放式）（都市ガス用）	(CO中毒、死亡1名)1名が死亡した状態で発見され、現場に当該製品があった。			東京都	○当該製品には、台所のガス栓から引いたガスホースが接続されていた。 ○使用中の当該製品からは、0.2%以上の一酸化炭素が検出された。 ○当該製品の赤外線ネットにはススが付着しており、反射板表面、外郭上面の一部も黒くなっていた。 ○当該製品のバーナーの一次空気取り入れ口に取り付けられている空気調整器が適切に設定されておらず、十分な空気量が確保されていなかった。なお、当該製品の空気調整器は使用するガス種（6Aと13A）にあわせて空気流入量を調節できるものである。 ○空気調整器の設定を適切に直したところ、一酸化炭素濃度は人体に影響のない程度まで低下した。 ○空気調節器の設定が変えられた経緯は確認出来なかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の空気取り入れ口の調節器の設定が変更されていたために、不完全燃焼状態になり、高濃度の一酸化炭素が発生した	
B1G11- 407	2011/12/20	2013/03/21	カセットボンベ	（火災，軽傷1名）当該製品を焼損する火災が発生し，1名が負傷した。			兵庫県	○使用者は，台所で当該製品のガス抜きを行っていた。 ○ガス抜き時には，近くで石油ストーブを使用していた。 ●当該製品のガス抜きを，石油ストーブが使用されていた台所で行っていたために，漏れたガスに石油ストーブの火が引火し，火災に至ったものと推定される。なお，ボンベにガスが残っている場合の処理について，本体表示には，「お湯を沸かすなどして使い切る。又は，風通しの良い火の気のない屋外でガス抜きをする。」旨，記載されている。	
A2G11- 005	2011/01/18	2011/02/08	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，屋外式）	ガス給湯付ふろがまの使用中に電気ブレーカーが作動した、ふろ釜の電源が入らないため、屋外のふろ釜を見に行ったところ、器具から煙が出ているのを発見した。	なし	なし	三重県	―――	リコール対象品
B2G11- 004	2011/01/11 知	2011/02/08	ガスふろがま（都市ガス用，BF式）	ガス事業者から機器内部が焼損していると連絡があり、調査したが、損傷はなく煤が付着していた。購入後から口火が点けっ放しだったため、口火の一次空気孔が埃で閉塞して不完全燃焼し、機器内に煤が付着したものと推定。	機器内部煤付着	なし	東京都	―――	
B2G11- 003	2011/01/07	2011/02/08	ガス給湯付ふろがま（LPガス用，BF式）	再点火をしたところ大きな音がして着火した。	ケーシングの一部が変形した	無し	神奈川県	―――	
B2G11- 002	2011/01/05	2011/02/08	ガスこんろ（都市ガス用，組込型）	お客様がこんろを使用したところコンロ前面上部より火が出た。	製品一部焼損	なし	愛知県	―――	
B2G11- 001	2011/01/03	2011/02/08	ガス給湯付ふろがま（都市ガス用，BF式）	BF式風呂釜の水抜き栓、器具栓、端子台の一部が焼損していた。調査の結果、浴槽へ湯を溜めているときに機器が冠水状態となり、炎が溢れて内部を一部焼損したものと推定されます。	器具焼損	なし	東京都	―――	

・Z1G11-145…A1G11,00,053と同じ事故データ
・B2G11-190…末尾188と重複していることが判明した。
・B2G11-246…末尾nite221と重複していることが判明した。
・343，360…最終的にガスこんろは無関係であることが判明したため，削除した。

※1 A2：重大製品事故以外の製品事故
※2 B1：「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
※3 B2：「B1」以外の事故